

NUAGE

NUAGE FADER CONTROL SURFACE
Ncs500-FD

オペレーションマニュアル

オペレーションマニュアルの使いかた

このオペレーションマニュアルは、用語の検索機能やリンク機能を活用できます。

用語の検索

用語を検索するときは、本書を表示しているソフトウェアの機能を使います。Adobe Readerを使っているときは、検索バーに用語を入力してコンピューターキーボードの[Enter]キーを押すと、入力した用語を検索できます。

前の画面/次の画面の表示

Adobe Readerを使っているときは、前の画面/次の画面を表示できます。ページのリンクでページを移動したあとに、前の画面に戻りたいときに便利です。

目次

はじめに	3
取扱説明書の読みかた	3
本体の説明.....	4
トップパネル.....	4
リアパネル	22
ソフトウェアの説明.....	23
NUAGE FADER Setup.....	23
NUAGE Workgroup Manager	24
困ったときは(オペレーション編)	25
資料.....	25
セットアップガイドの目次.....	25
四角ボタンのラベルの交換.....	25
Pro Toolsのコントロール	26
NUAGE V2.1で追加された機能.....	29
NUAGE V2.0で追加された機能.....	33
NUAGE V1.7で追加された機能.....	46
NUAGE V1.6で追加された機能.....	61
NUAGE V1.5で追加された機能.....	70
NUAGE V1.2で追加された機能.....	77
NUAGE V1.1で追加された機能.....	80

お知らせ

- ・ 取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

取扱説明書の読みかた

種類と内容

・ セットアップガイド

本体に付属の取扱説明書です。本体の使用準備をするためにお読みください。

・ オペレーションマニュアル

ウェブサイトからダウンロードする、PDFファイルの取扱説明書(本書)です。本体の機能や使用方法を調べるためにお読みください。

表記

・ []と「 」

この取扱説明書では、[]と「 」は次のものを表記するために使用しています。

記号	表記するもの
[]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体にあるボタン、スイッチ、インジケーター、端子など ・ コンピューターのキーボードにあるキー
「 」	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピューターの画面やソフトウェアの画面にあるメニュー、ボタン、タブ、エリア、ウィンドウなど ・ メッセージ、機能名、取扱説明書の中の参照先などの引用

・ WindowsとMac

手順や説明で、WindowsとMacで操作が違ったり、どちらかのOSだけで使用できる機能の場合は、それを記載しています。OSの記載がない場合は、両OSで共通です。

・ 手順

手順の一部は、「→」を使用して簡潔に記載しています。たとえば、「デバイス」→「デバイス設定」→「コントロールパネル」と記載している場合は、次のように操作します。

1. 「デバイス」メニューをクリックします。
2. 「デバイス設定」オプションを選択します。
3. 「コントロールパネル」ボタンをクリックします。

・ キーボードショートカット

キーボードショートカットは、[Windowsのキー]/[Macのキー]+[キー]と記載しています。たとえば、[Ctrl]/[command]+[Z]は、Windowsでは[Ctrl]キーを押したまま、Macでは[command]キーを押したまま、[Z]キーを押します。

・ 画像(スクリーンショット)

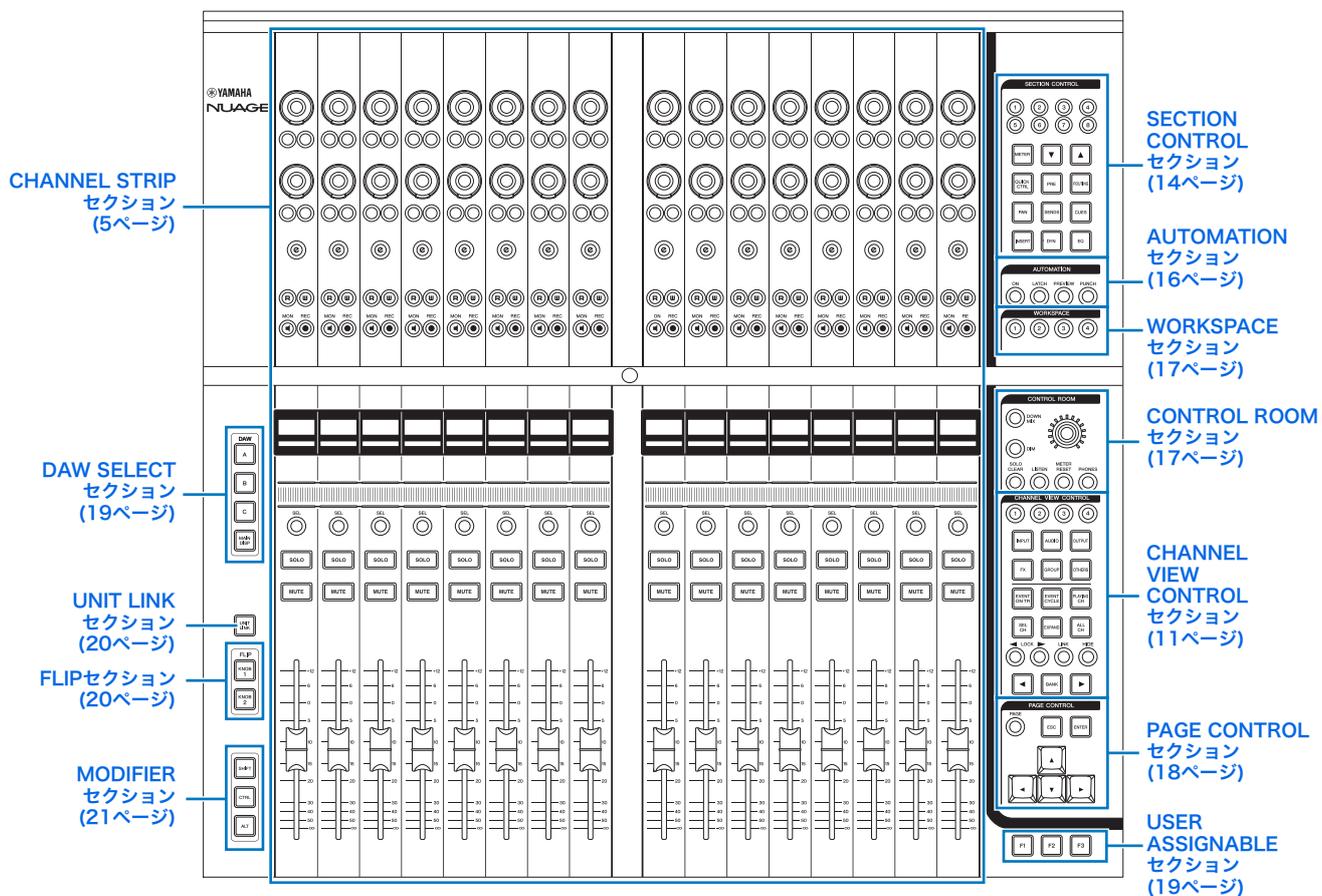
説明のための画像は、Windows版を使用しています。ただし、Mac版だけの機能を説明するための画像は、Mac版を使用しています。また、Nuendoの画像はNuendo 6を使用しています。他のバージョンのNuendoをご使用の場合、画像が異なることがあります。詳細は、Nuendoの「ヘルプ」メニューから開く取扱説明書(PDF)をご参照ください。

Nuendoの機能の説明

この取扱説明書では、Nuendoの機能の説明は簡単な内容にとどめています。Nuendoの機能の詳細は、Nuendoの「ヘルプ」メニューから開く取扱説明書(PDF)をご参照ください。

本体の説明

トップパネル



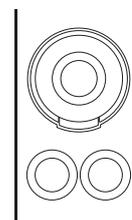
CHANNEL STRIPセクション



概要

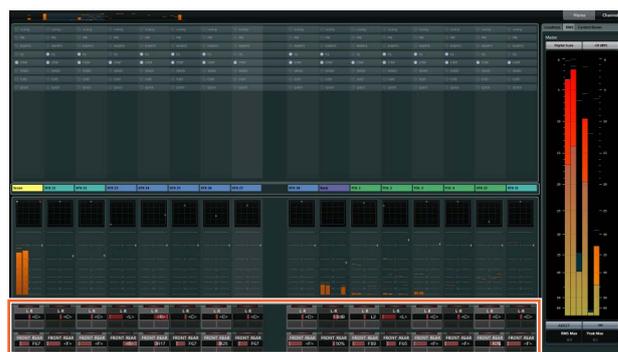
チャンネルのパラメーターを操作するセクションです。チャンネルの割り当ては「ミキサー」と連動します。

[マルチファンクションノブ]は、さまざまなパラメーターを操作する、タッチセンス付きのノブです。

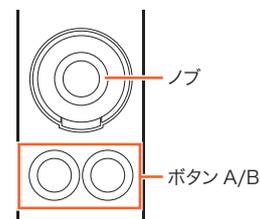


[マルチファンクションノブ]の操作には、タッチする、回す、押す、押したまま回す、の4つがあります。[マルチファンクションノブ]の下部には、[マルチファンクションボタンA]/[マルチファンクションボタンB]があります。このボタンは、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターを切り替えたりオン/オフしたりするものです。このノブとボタンのセットが、1つのチャンネルに2つあります。

[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターは、「SECTION CONTROLセクション」(14ページ)で切り替えます。[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターの情報は、「ミキサー」の下部にある「ラベルエリア」に表示されます。



以下は、「ラベルエリア」と、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターの関係を示します。



SECTION CONTROLセクションでの切り替えによって、
[マルチファンクションノブ]は次のように機能します。

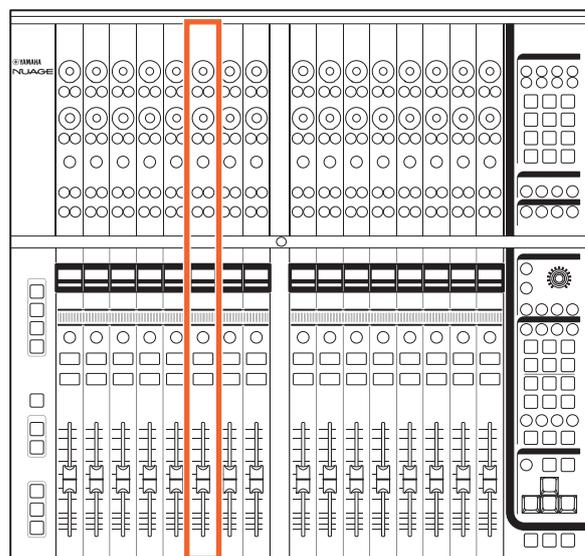
操作	機能
ノブをタッチする	・パラメーターがハイライト表示になります。 ・ポップアップを表示します。
ノブを回す	・パラメーターを調節します。 ・パラメーターを選択します。 ・カーソルを移動します。
ノブを押す	・ポップアップを表示します。 ・パラメーターの選択を確定します。 ・フォルダーを開いたり閉じたりします。
ノブを押したまま回す	パラメーターを微調節します(ファインモード)。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[マルチファンクションノブ]を操作すると、次のように機能します。

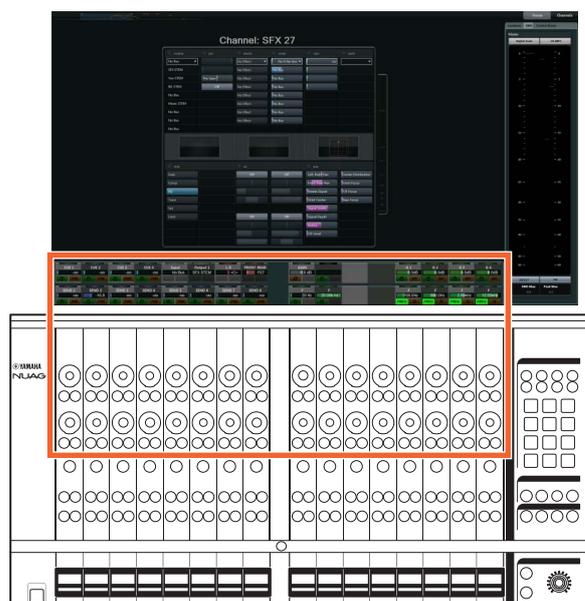
操作	機能
[SHIFT]を押したままノブを回す	パラメーターを微調節します(ファインモード)。
[CTRL]を押したままノブを押す	パラメーターを初期値にします。

[e]は、チャンネルを編集するためのチャンネルセッティングモードに切り替えるボタンです。チャンネルセッティングモードでは、32個の[マルチファンクションノブ]を使用して、チャンネルのパラメーターを操作できます。

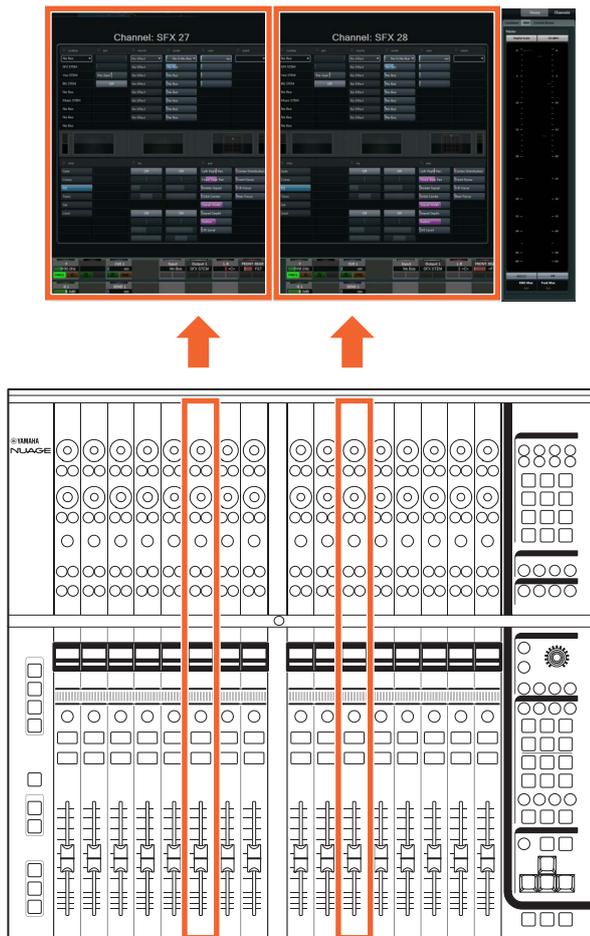
1つのチャンネルの[e]を押すと、チャンネルセッティングモードに切り替わります。



この場合、1つのチャンネルの編集に32個の[マルチファンクションノブ]を使用できます。

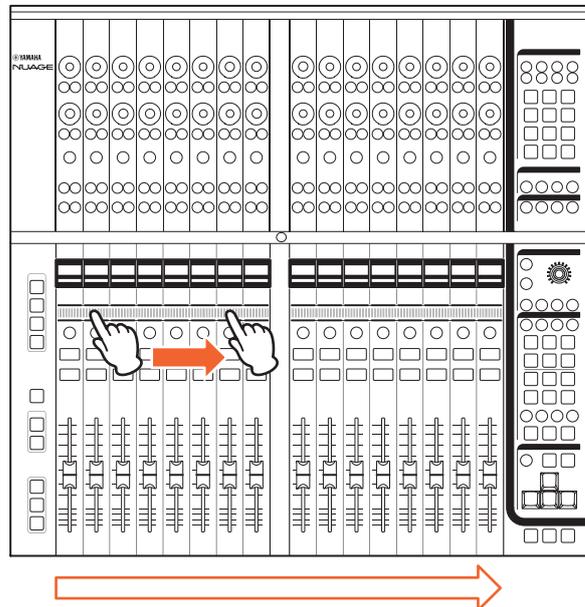


2つのチャンネルの[e]を同時に押すと、2つのチャンネルを同時に編集できます。

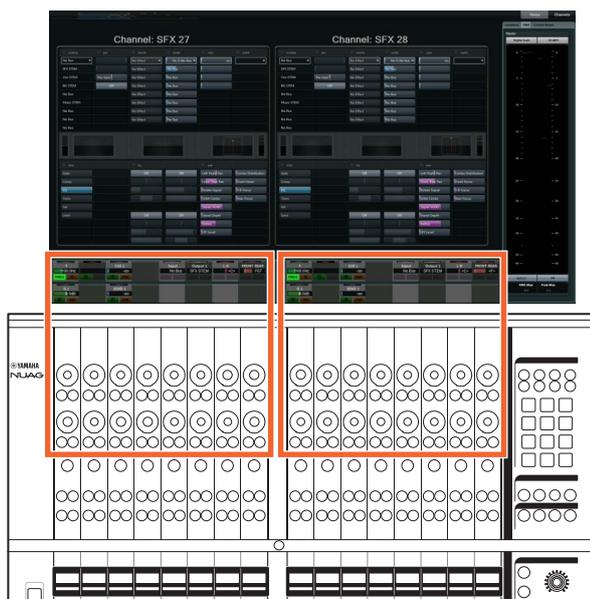


編集中のチャンネルの[e]を押すと、元の「ミキサー」の表示に戻ります。なお、チャンネルセッティングモードでも、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターをSECTION CONTROLセクションで切り替えることができます。

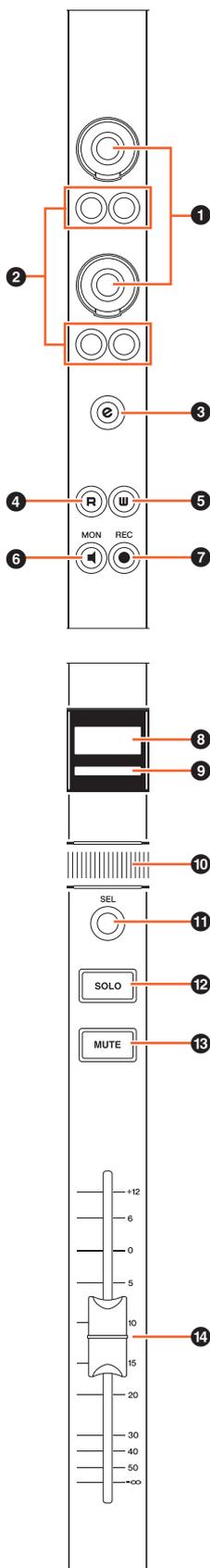
[タッチスライダバー]は、チャンネルをスクロールするためのタッチコントローラーです。指1本でスライドすると、スライドした分だけチャンネルがスクロールします。



この場合、1つのチャンネルの編集に16個の[マルチファンクションノブ]を使用できます。左側の[e]のチャンネルは左側の16個、右側の[e]のチャンネルは右側の16個です。



各部の名称と機能



① [マルチファンクションノブ]

さまざまなパラメーターを操作します。[マルチファンクションノブ]にあるLEDの色は、操作するパラメーターによって変化します。

② [マルチファンクションボタンA]/[マルチファンクションボタンB]

[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターを、切り替えたりオン/オフしたりします。

③ [e](エディット)

チャンネルを編集するためのチャンネルセッティングモードに切り替えます。1つのチャンネルの[e]を押すと1つのチャンネルを編集でき、2つのチャンネルの[e]を同時に押すと2つのチャンネルを同時に編集できます。編集中のチャンネルの[e]を押すと、元の「ミキサー」の表示に戻ります。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[e]を押すと、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	1つのチャンネルを編集しているときは、2つのチャンネルを編集する表示に切り替えます。2つのチャンネルを編集しているときは、片方のチャンネルを選択したチャンネルに切り替えます。

④ [R]

「オートメーション読込」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。ひとつの[R]を押したまま他の[R]を押すと、2つの[R]の間の「オートメーション読込」をオン/オフできます。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[R]を押すと、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	連続する複数のチャンネルの「オートメーション読込」をオンにします。
[ALT]	すべてのチャンネルの「オートメーション読込」をオン/オフします。

⑤ [W]

「オートメーション書込」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。ひとつの[W]を押したまま他の[W]を押すと、2つの[W]の間の「オートメーション書込」をオン/オフできます。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[W]を押すと、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	連続する複数のチャンネルの「オートメーション書込」をオンにします。
[ALT]	すべてのチャンネルの「オートメーション書込」をオン/オフします。

6 [MON]

「モニタリング」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。ひとつの[MON]を押したまま他の[MON]を押すと、2つの[MON]の間の「モニタリング」をオン/オフできます。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[MON]を押すと、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	連続する複数のチャンネルの「モニタリング」をオンにします。
[ALT]	すべてのチャンネルの「モニタリング」をオン/オフします。

7 [REC]

「録音可能」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。ひとつの[REC]を押したまま他の[REC]を押すと、2つの[REC]の間の「録音可能」をオン/オフできます。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[REC]を押すと、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	連続する複数のチャンネルの「録音可能」をオンにします。
[ALT]	すべてのチャンネルの「録音可能」をオン/オフします。

8 [チャンネルネームディスプレイ]

次のチャンネルの情報が表示されます。



チャンネルのタイプのアイコンは、Nuendoのトラックのアイコンと同じものが表示されます。CHANNEL VIEW CONTROLセクションの[◀ LOCK](12ページ)または[▶ LOCK](12ページ)を使用してチャンネルをセンターエリア以外に移動した場合、チャンネルのIDには[]が付きます。

[フェーダー]をタッチすると、[チャンネルネームディスプレイ]にチャンネルのレベルが表示されます。ただし、FLIP(20ページ)を使用しているときは、[マルチファンクションノブ]のパラメーターの値が表示されます。

ディスプレイ保護のため、一定時間操作しないと[チャンネルネームディスプレイ]は自動で消灯します。消灯するまでの時間は、NUAGE FADER Setupの「OLED Off Time」(23ページ)で設定します。

9 [チャンネルカラー]

チャンネルの色が表示されます。表示される色は、Nuendoのトラックの色と同じです。

10 [タッチスライダバー]

チャンネルをスクロールします。操作方法は次のとおりです。

操作	説明
スライド	指1本でゆっくりとスライドします。スライドしただけチャンネルがスクロールします。
フリック	指1本で勢い良くスライドします。途中で指を離すとスクロールは継続しますが、だんだんと遅くなって止まります。このとき、スクロールを指で止めることもできます。
バンクフリック	指1本で一定の速度でフリックします。チャンネルが8つ分スクロールして止まります。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[タッチスライダバー]を操作すると、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	フリック操作をしたときに、一番端までスクロールします。
[CTRL]	スライド操作をしたときに、チャンネルが8つ分スクロールします。
[ALT]	タッチしたときに、チャンネルセッティングモードで編集中のチャンネルが、タッチしたチャンネルに移動します。ただし、チャンネルの並び順により、タッチしたチャンネルに移動できない場合は、一番近いチャンネルに移動します。

[タッチスライダバー]でチャンネルをスクロールしているときに、[フェーダー]を追従させることができます。この機能のオン/オフは、NUAGE FADER Setupの「Follow Slider Scroll」(23ページ)で切り替えます。

11 [SEL]

チャンネルを選択します。ひとつの[SEL]を押したまま他の[SEL]を押すと、2つの[SEL]の間のチャンネルを選択できます。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[SEL]を押すと、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	連続する複数のチャンネルを選択します。
[CTRL]	連続しない複数のチャンネルを選択します。

12 [SOLO]

「ソロ」または「Listen」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。ひとつの[SOLO]を押したまま他の[SOLO]を押すと、2つの[SOLO]の間の「ソロ」または「Listen」をオン/オフできません。「ソロ」と「Listen」を切り替えるには、CONTROL ROOMセクションの[LISTEN](18ページ)を押します。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[SOLO]を押すと、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	連続する複数のチャンネルの「ソロ」または「Listen」をオンにします。
[CTRL]	最後に[SOLO]を押したチャンネルだけ、「ソロ」または「Listen」をオンにします。
[ALT]	すべてのチャンネルの「ソロ」または「Listen」をオフにします。

13 [MUTE]

「ミュート」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。ひとつの[MUTE]を押したまま他の[MUTE]を押すと、2つの[MUTE]の間の「ミュート」をオン/オフできます。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[MUTE]を押すと、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	連続する複数のチャンネルの「ミュート」をオンにします。
[ALT]	すべてのチャンネルの「ミュート」をオフにします。

14 [フェーダー]

チャンネルのレベルを調節します。[フェーダー]は、タッチセンス付きの100 mmモーターフェーダーです。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[フェーダー]を操作すると、次のように機能します。

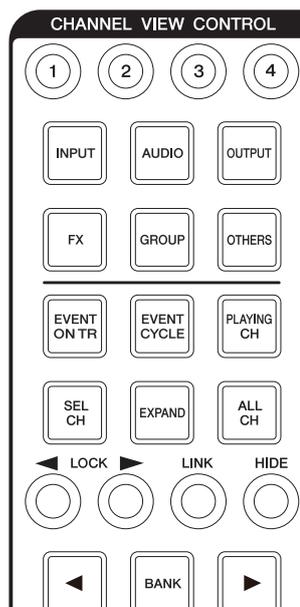
修飾ボタン	機能
[SHIFT]	レベルを微調節します(ファインモード)。
[CTRL]	ノミナルレベルになります。

[フェーダー]をタッチすると、「ミキサー」のフェーダーがハイライト表示されます。また、[フェーダー]をタッチしてチャンネルを選択することもできます。この機能のオン/オフは、NUAGE FADER Setupの「Ch Select」(23ページ)で切り替えます。この機能がオンのとき、「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[フェーダー]をタッチすると、次のように機能します。

修飾ボタン	機能
[SHIFT]	連続する複数のチャンネルを選択します。

[フェーダー]は、モーターの電源をオン/オフできます。電源のオン/オフは、NUAGE FADER Setupの「Motor」(23ページ)で切り替えます。電源がオフの場合、[フェーダー]で操作するパラメーターの値と[フェーダー]が同じ位置になったときに、パラメーターを操作できます。

CHANNEL VIEW CONTROLセクション



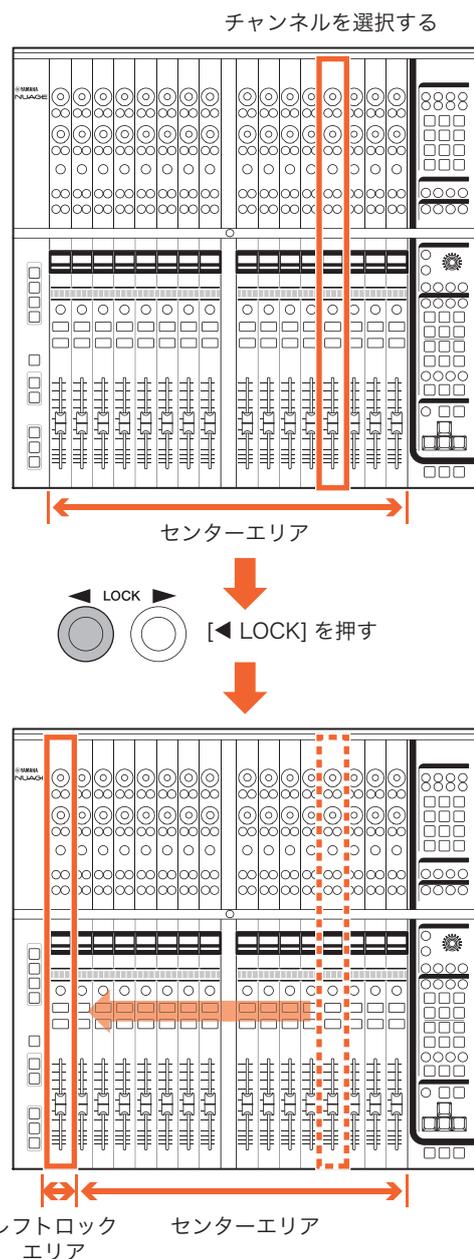
概要

「ミキサー」のチャンネルの表示を切り替えるセクションです。主に次のような機能があります。()は、その機能进行操作するためのボタンです。

- ・ 選択しているチャンネルを隠したり表示したりします。([HIDE]/[ALL CH])
- ・ 選択しているチャンネルを「リンク」します。([LINK])
- ・ チャンネルをタイプごとに隠したり表示したりします。([INPUT]や[AUDIO]など)
- ・ ボタンを押したときに条件に当てはまるチャンネルだけを表示します(エージェント機能)。([EVENT ON TR]や[EVENT CYCLE]など)
- ・ チャンネルをスクロールします。([◀]/[▶])
- ・ 「グループ」チャンネルなどにルーティングしているチャンネルを表示します。([EXPAND])
- ・ チャンネルの表示状態を記憶したり呼び出したりします。([CHANNEL VIEWメモリー 1]~[CHANNEL VIEWメモリー 4])

MODIFIERセクションの[CTRL](21ページ)を押したまま、チャンネルをタイプごとに隠したり表示したりする[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]のどれかを押すと、そのタイプのチャンネルだけが表示されます。

チャンネルを選択してから[◀ LOCK]を押すと、選択したチャンネルは左に移動してレフトロックエリアに入ります。

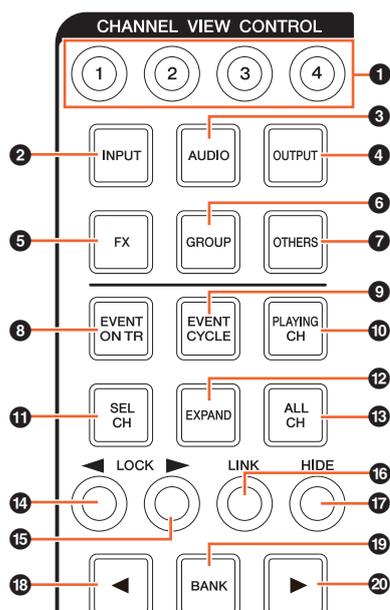


「ミキサー」には、次の3つのエリアがあります。

- ・ レフトロックエリア
- ・ センターエリア
- ・ ライトロックエリア

レフトロックエリアに移動したチャンネルは、スクロールしません。つまり、チャンネルは常に表示されます。レフトロックエリアにあるチャンネルを選択してから[◀ LOCK]を押すと、センターエリアに戻ります。センターエリアにあるチャンネルはスクロールします。ライトロックエリアも、レフトロックエリアと同様です。

各部の名称と機能



1 [CHANNEL VIEWメモリー1]～[CHANNEL VIEWメモリー4]

「ミキサー」のチャンネルの表示状態を記憶したり呼び出したりします。たとえば、[CHANNEL VIEWメモリー 1]を2秒以上押し続けると、現在のチャンネルの表示状態が[CHANNEL VIEWメモリー 1]に記憶されます。このとき、ランプが数回点滅します。チャンネルの表示状態を記憶した[CHANNEL VIEWメモリー 1]を押してすぐ離すと、記憶したチャンネルの表示状態が呼び出されます。

2 [INPUT]

「入力」チャンネルを隠し(暗点灯)たり表示(点灯)したりします。ただし、[HIDE]で隠したチャンネルは表示されません。

3 [AUDIO]

「オーディオ」チャンネルを隠し(暗点灯)たり表示(点灯)したりします。ただし、[HIDE]で隠したチャンネルは表示されません。

4 [OUTPUT]

「出力」チャンネルを隠し(暗点灯)たり表示(点灯)したりします。ただし、[HIDE]で隠したチャンネルは表示されません。

5 [FX]

「FX」チャンネルを隠し(暗点灯)たり表示(点灯)したりします。ただし、[HIDE]で隠したチャンネルは表示されません。

6 [GROUP]

「グループ」チャンネルを隠し(暗点灯)たり表示(点灯)したりします。ただし、[HIDE]で隠したチャンネルは表示されません。

7 [OTHERS]

次のチャンネルを隠し(暗点灯)たり表示(点灯)したりします。

- ・「MIDI」チャンネル
- ・「インストゥルメント」チャンネル
- ・「Rewire」チャンネル

ただし、[HIDE]で隠したチャンネルは表示されません。

8 [EVENT ON TR]

ボタンを押したときに、トラックにイベントがあるチャンネルだけを表示します。

9 [EVENT CYCLE]

ボタンを押したときに、「サイクル」の範囲にイベントがあるチャンネルだけを表示します。

10 [PLAYING CH]

ボタンを押したときに、再生中のチャンネルだけを表示します。

11 [SEL CH]

選択しているチャンネルだけを表示します。

12 [EXPAND]

選択しているチャンネルにルーティングしているチャンネルだけを表示します。次のチャンネルで機能します。

- ・「グループ」チャンネル
- ・「FX」チャンネル
- ・「出力」チャンネル

13 [ALL CH]

隠しているチャンネルを含め、すべてのチャンネルを表示します。ただし、[INPUT]や[AUDIO]などで、チャンネルのタイプごとに隠しているチャンネルは表示されません。

ランプの状態	説明
点灯	すべてのチャンネルを表示しています。
暗点灯	隠しているチャンネルがあります。

14 [◀ LOCK](ロックレフト)

選択しているチャンネルをレフトロックエリアに移動します。

ランプの状態	説明
点灯	選択しているチャンネルの中に、レフトロックエリアにあるチャンネルがあります。
暗点灯	選択しているチャンネルは、レフトロックエリア以外にあります。

15 [▶ LOCK](ロックライト)

[◀ LOCK]と同様です。ただし、選択しているチャンネルをライトロックエリアに移動します。

16 [LINK]

選択している複数のチャンネルを「リンク」します。「リンク」をすると、チャンネルのパラメーターは同期します。同期するパラメーターの設定は、Nuendoの画面で編集します。

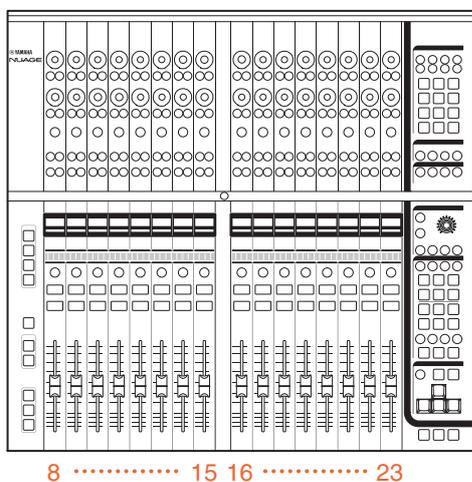
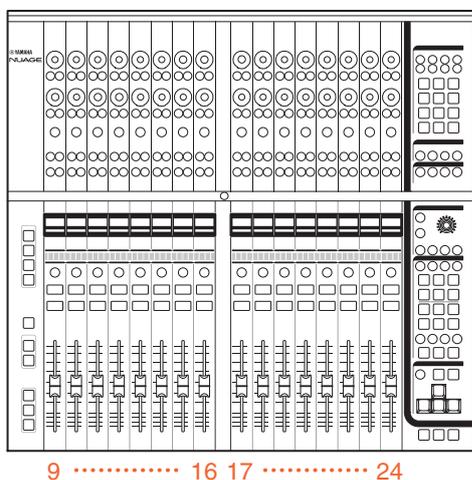
ランプの状態	説明
点灯	選択しているチャンネルは「リンク」しています。
暗点灯	選択しているチャンネルの「リンク」ができません。
消灯	複数のチャンネルを選択していません。

17 [HIDE]

0.3秒以上押すことで、選択しているチャンネルを隠します。隠したチャンネルは、[ALL CH]を押すと表示できます。

18 [◀](レフト)

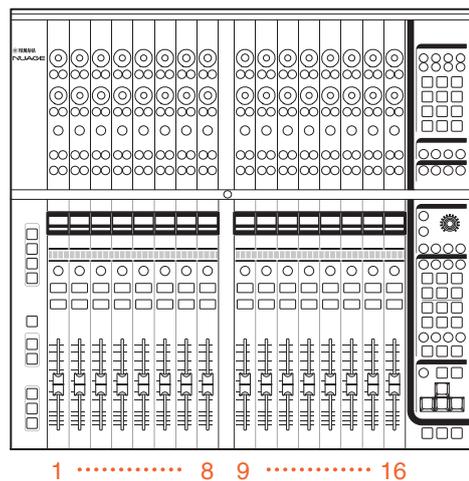
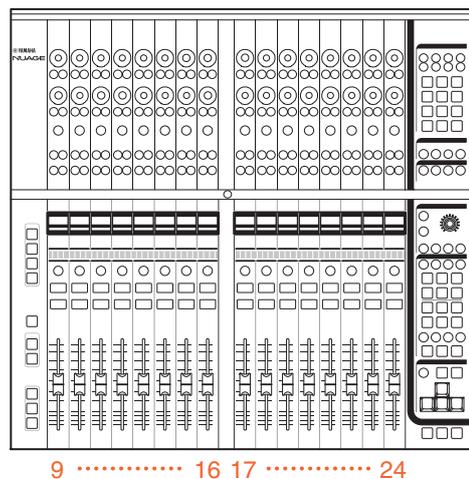
チャンネルを1つずつスクロールします。



[◀]を押し続けると、連続でスクロールします。ただし、レフトロックエリアとライトロックエリアにあるチャンネルは、スクロールしません。

19 [BANK]

バンクスクロールをオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。バンクスクロールをオンにすると、[◀]/[▶]でチャンネルが8つずつスクロールします。

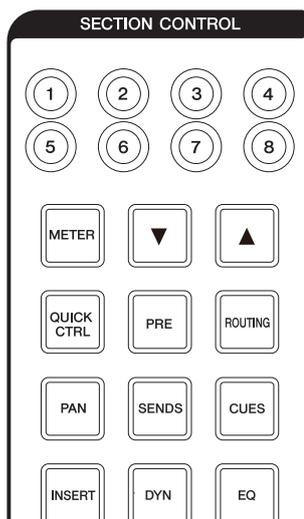


[◀]/[▶]を押し続けると、連続でバンクスクロールします。ただし、レフトロックエリアとライトロックエリアにあるチャンネルは、スクロールしません。

20 [▶](ライト)

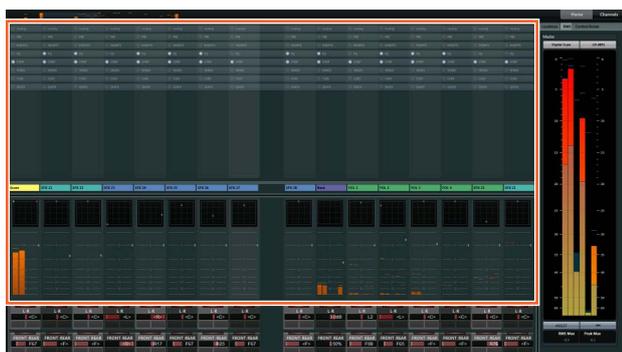
[◀]と同様です。

SECTION CONTROLセクション



概要

「ミキサー」の「Section」の表示と、CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ](8ページ)で操作するパラメーターの切り替えを操作するセクションです。



[QUICK CTRL]、[PRE]、[ROUTING]、[PAN]、[SENDS]、[CUES]、[INSERT]、[DYN]、[EQ]は、「Section」の表示と、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターを切り替えるボタンです。たとえば[EQ]を押すと、「Section」が「EQ」の表示になり、なおかつ[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターも「EQ」に切り替わります。



もう一度[EQ]を押すと、「Section」の表示と[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターは初期状態([QUICK CTRL]や[PRE]などをどれも押していない状態)になります。この動作は、CHANNEL STRIPセクションがチャンネルセッティングモードのときでも同様です。

このSECTION CONTROLセクションでの切り替えによって、[マルチファンクションノブ]は次のように機能します。

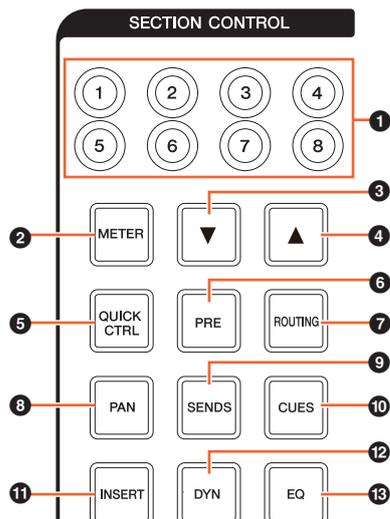
操作	機能
ノブをタッチする	・パラメーターがハイライト表示になります。 ・ポップアップを表示します。
ノブを回す	・パラメーターを調節します。 ・パラメーターを選択します。 ・カーソルを移動します。
ノブを押す	・ポップアップを表示します。 ・パラメーターの選択を確定します。 ・フォルダーを開いたり閉じたりします。
ノブを押したまま ノブを回す	パラメーターを微調節します(ファインモード)。

「MODIFIERセクション」(21ページ)の修飾ボタンを押したまま[マルチファンクションノブ]を操作すると、次のように機能します。

操作	機能
[SHIFT]を押したまま ノブを回す	パラメーターを微調節します(ファインモード)。
[CTRL]を押したまま ノブを押す	パラメーターを初期値にします。

[サブパラメーター 1]~[サブパラメーター 8]と[▲]/[▼]は、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターの種類やスロットなどを切り替えるボタンです。

各部の名称と機能



① [サブパラメーター1]～[サブパラメーター8]

CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ] (8ページ)で操作するパラメーターの種類やスロットなどを切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	種類やスロットなどを選択しています。
暗点灯	種類やスロットなどの切り替えができます。
消灯	種類やスロットなどの切り替えができません。

② [METER]

「Section」のメーターの表示を切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	「グラフ表示」です。
暗点灯	「波形表示」です。

③ [▼](ダウン)

CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ] (8ページ)で操作するパラメーターの種類やスロットなどを1つずつ切り替えます。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
暗点灯	種類やスロットなどの切り替えができます。
消灯	種類やスロットなどの切り替えができません。

④ [▲](アップ)

[▼]と同様です。

⑤ [QUICK CTRL]

「Section」が「QUICK」の表示になります。CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ] (8ページ)は、「クイックコントロール」の操作に切り替わります。

このとき、CHANNEL STRIPセクションがチャンネルセッティングモードの場合は、パラメーターを[マルチファンクションノブ]に割り当てて固定(ロック)することができます。手順は次のとおりです。

1. 割り当てたいパラメーターの上に、マウスカーソルを移動します。

ロックをしていない[マルチファンクションノブ]に、パラメーターが一時的に割り当てられます。

NOTE

割り当てできるのは、オートメーションが可能なパラメーターに限ります。

2. ロックをしたい[マルチファンクションノブ]の[マルチファンクションボタンB]を押します。

パラメーターがロックされます。

ロックを解除するには、もう一度[マルチファンクションボタンB]を押します。

⑥ [PRE]

「Section」が「PRE」の表示になります。CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ] (8ページ)は、「フィルター」の操作に切り替わります。

⑦ [ROUTING]

「Section」が「ROUTING」の表示になります。CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ] (8ページ)は、「ダイレクトルーティング」の操作に切り替わります。

このとき、[マルチファンクションノブ]を押すと、「ダイレクトルーティング」のルーティングを選択するためのポップアップが表示されます。[マルチファンクションノブ]を回してパラメーターを選択し、[マルチファンクションノブ]を押すと確定します。

⑧ [PAN]

「Section」が「PAN」の表示になります。CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ] (8ページ)は、「パン」の操作に切り替わります。

⑨ [SENDS]

「Section」が「SENDS」の表示になります。CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ] (8ページ)は、「センド」の操作に切り替わります。

このとき、[マルチファンクションノブ]を押すと、「センド」のルーティングを選択するためのポップアップが表示されます。[マルチファンクションノブ]を回してパラメーターを選択し、[マルチファンクションノブ]を押すと確定します。

⑩ [CUES]

「Section」が「CUES」の表示になります。CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ](8ページ)は、「キューセンド」の操作に切り替わります。

⑪ [INSERT]

「Section」が「INSERTS」の表示になります。CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ](8ページ)は、「インサート」の操作に切り替わります。

このとき、[マルチファンクションノブ]を押すと、「インサート」のプラグインを選択するためのポップアップが表示されます。[マルチファンクションノブ]を回してパラメーターを選択し、[マルチファンクションノブ]を押すと確定します。「Section」にエフェクトの画面が表示されている場合は、パラメーターを[マルチファンクションノブ]に割り当てて固定(ロック)することができます。手順は次のとおりです。

1. 割り当てたいパラメーターの上に、マウスカーソルを移動します。

ロックをしていない[マルチファンクションノブ]に、パラメーターが一時的に割り当てられます。

2. ロックをしたい[マルチファンクションノブ]の[マルチファンクションボタンB]を押します。

パラメーターがロックされます。

ロックを解除するには、もう一度[マルチファンクションボタンB]を押します。

エフェクトの画面を閉じるには[INSERT]を押します。

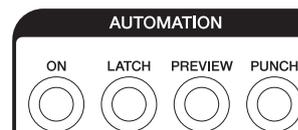
⑫ [DYN]

「Section」が「STRIP」の表示になります。CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ](8ページ)は、「ストリップ」の操作に切り替わります。

⑬ [EQ]

「Section」が「EQ」の表示になります。CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ](8ページ)は、「EQ」の操作に切り替わります。

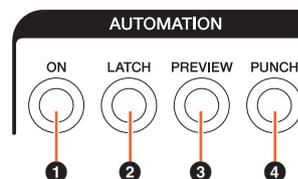
AUTOMATIONセクション



概要

「オートメーション」を操作するセクションです。

各部の名称と機能



① [ON]

すべての「Suspend Read」と「Suspend Write」をオン/オフします。すべてのチャンネルの「オートメーション読込」と「オートメーション書込」の有効/無効を切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	すべての「Suspend Read」と「Suspend Write」は無効です。
暗点灯	「Suspend Read」または「Suspend Write」が1つ以上有効になっています。

② [LATCH]

「オートメーションモード」が「オートラッチ」として機能(点灯)するか、その他のモードとして機能(暗点灯)するかを切り替えます。

③ [PREVIEW]

「プレビュー」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。オンにすると、「プレビュー」を使用できます。

④ [PUNCH]

「パンチ」を使用します。

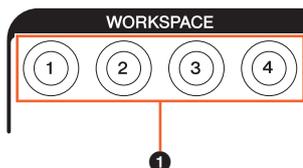
WORKSPACEセクション



概要

「ワークスペース」を呼び出すセクションです。「ワークスペース」の新規作成やロックなどは、Nuendoの画面で操作します。

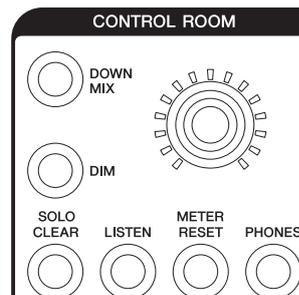
各部の名称と機能



① [WORKSPACE 1]~[WORKSPACE 4]

「ワークスペース1」～「ワークスペース4」を呼び出します。ボタンを押している間、ランプが点灯します。呼び出すことができる「ワークスペース」は、4つめまでです。

CONTROL ROOMセクション



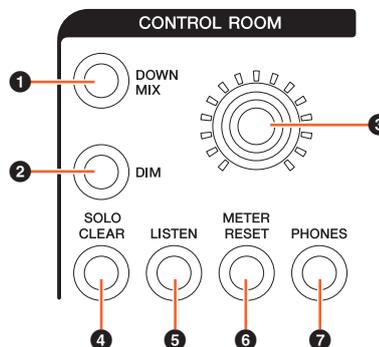
概要

「Control Room」を操作するセクションです。このセクションを使用するには、Nuendoの「Control Room」をオンにしてから「Control Room」で使用するチャンネルを作成し、入出力先を設定する必要があります。

[CONTROL ROOM LEVELノブ]は、「Control Room」のレベルを調節するノブです。ただし、[PHONES]がオンのときは「Phones」のレベルを調節します。

DAWソフトウェアを複数台設定し、「DAW SELECTセクション」(19ページ)で切り替えて使用している場合、[DOWN MIX]、[DIM]、[CONTROL ROOM LEVELノブ]、[PHONES]は、常にDAW AのNuendoの「Control Room」を操作します。つまり、DAWソフトウェアの切り替えに影響を受けません。

各部の名称と機能



① [DOWN MIX]

「ダウンミックス」のプリセットを1つずつ切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	1番め以外の「ダウンミックス」のプリセットを選択しています。
暗点灯	1番めの「ダウンミックス」のプリセットを選択しています。

② [DIM]

「DIM」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。オンにすると、「Control Room」のレベルが下がります。オフにすると、元のレベルに戻ります。「DIM」のレベルは、Nuendoで設定します。

③ [CONTROL ROOM LEVELノブ]

「Control Room」のレベルを調節します。ただし、[PHONES]がオンのときは「Phones」のレベルを調節します。[CONTROL ROOM LEVELノブ]を押しながら回すと、レベルを微調節できます(ファインモード)。

④ [SOLO CLEAR]

すべてのチャンネルの「ソロ」または「Listen」をオフにします。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
点滅	「ソロ」または「Listen」がオンになっているチャンネルが1つ以上あります。
消灯	すべてのチャンネルの「ソロ」または「Listen」がオフです。

⑤ [LISTEN]

CHANNEL STRIPセクションの[SOLO](10ページ)が、「ソロ」として機能するか、「Listen」として機能するかを切り替えます。「Listen」の「AFL」と「PFL」の切り替えは、Nuendoの「Control Room」で設定します。

ランプの状態	説明
点灯(緑)	「PFL」の「Listen」として機能します。
暗点灯(緑)	「ソロ」として機能します。「Listen」の設定は「PFL」です。
点灯(オレンジ)	「AFL」の「Listen」として機能します。
暗点灯(オレンジ)	「ソロ」として機能します。「Listen」の設定は「AFL」です。

⑥ [METER RESET]

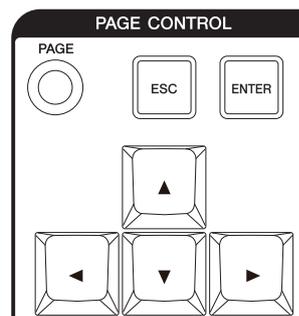
すべてのチャンネルの、メーターの表示をリセットします。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

⑦ [PHONES]

[CONTROL ROOM LEVELノブ]の操作対象を「Phones」に切り替えます。オンにすると、[CONTROL ROOM LEVELノブ]で「Phones」のレベルを調節できます。

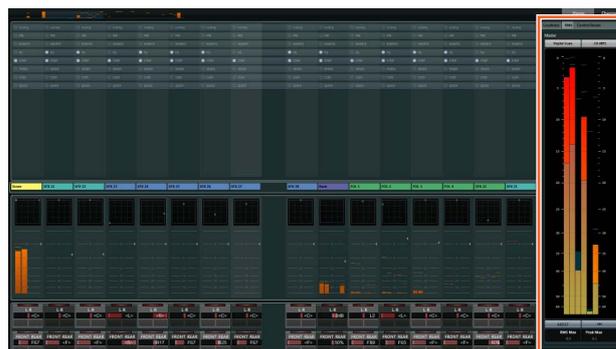
ランプの状態	説明
点灯	ノブで「Phones」のレベルを調節できます。
暗点灯	ノブで「Control Room」のレベルを調節できます。

PAGE CONTROLセクション



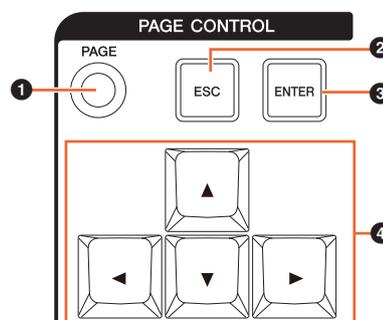
概要

「ミキサー」の「Page」を操作するセクションです。



「Page」には、「ミキサー」の情報を表示するページや、チャンネルの表示を操作するページなどが表示されます。

各部の名称と機能



① [PAGE]

「Page」を切り替えます。

② [ESC]

ポップアップなどを閉じます。

③ [ENTER]

選択した項目を「確定」をしたりオン/オフしたりします。

④ [▲]/[◀]/[▼]/[▶](アップ/レフト/ダウン/ライト)

ページにあるカーソルを移動したり、ページの表示を切り替えたりします。[▲]/[◀]/[▼]/[▶]を押し続けると、連続で移動します。

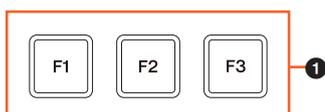
USER ASSIGNABLEセクション



概要

割り当てた機能を使用するセクションです。機能の割り当ては、NUAGE FADER Setupの「User Assignable Settings」(23ページ)で設定します。

各部の名称と機能



① [F1]～[F3]

割り当てた機能を使用します。ボタンを押している間、ランプが点灯します。

ランプの状態	説明
暗点灯	機能を割り当てています。
消灯	機能を割り当てていません。

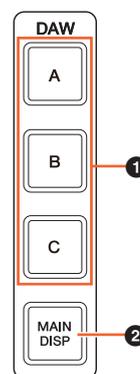
DAW SELECTセクション



概要

操作対象のDAWソフトウェアを切り替えるセクションです。複数のDAWソフトウェアを接続しているときに使用します。接続や設定などの詳細は、NUAGE Workgroup Manager (24ページ)の取扱説明書(PDF)をご参照ください。

各部の名称と機能



① [DAW A]～[DAW C]

操作対象のDAWソフトウェアを切り替えます。

ランプの状態	説明
点灯	DAWソフトウェアを選択しています。
暗点灯	DAWソフトウェアを選択していません。
消灯	DAWソフトウェアを設定していません。

② [MAIN DISP]

「ミキサー」が表示されているディスプレイに、「プロジェクトウィンドウ」を表示します。この機能を使用するには、KVMスイッチを設置してから、KVMスイッチに送信するデータをNUAGE Workgroup Managerで設定する必要があります。

UNIT LINKセクション



概要

UNIT LINKのオン/オフを切り替えるセクションです。複数台(最大3台まで)のNuage Faderを接続したときに、[UNIT LINK]でUNIT LINKをオンにすると、オンにしたNuage Faderは同期して機能します。オフにすると、オフにしたNuage Faderは独立して機能します。

各部の名称と機能



① [UNIT LINK]

Nuage FaderのUNIT LINKをオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

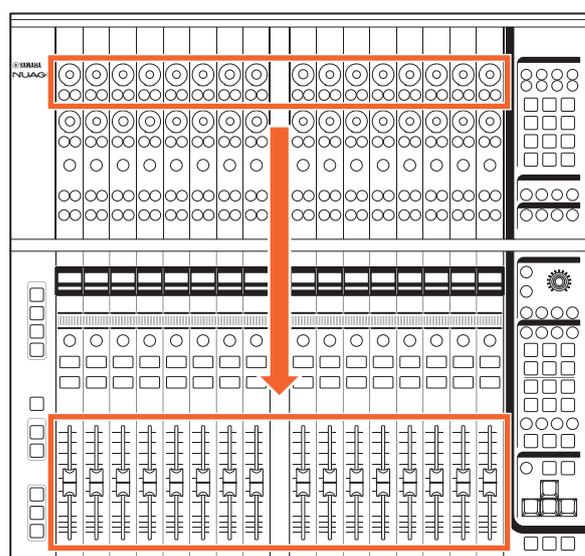
FLIPセクション



概要

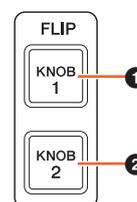
FLIPを操作するセクションです。[KNOB 1]または[KNOB 2]をオンにすると、CHANNEL STRIPセクションの[マルチファンクションノブ](8ページ)で操作するパラメーターを、CHANNEL STRIPセクションの[フェーダー](10ページ)でも操作できます。[KNOB 1]は上段の16個、[KNOB 2]は下段の16個の[マルチファンクションノブ]です。

[KNOB 1]を押した場合



ただし、[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターの種類によっては、[フェーダー]で操作できないものがあります。

各部の名称と機能



① [KNOB 1]

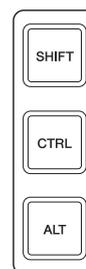
上段の16個の[マルチファンクションノブ]で操作するパラメーターを、[フェーダー]でも操作できるようにします。

ランプの状態	説明
点灯	FLIPがオンです。
暗点灯	FLIPがオフです。

② [KNOB 2]

[KNOB 1]と同様です。ただし、下段の16個の[マルチファンクションノブ]です。

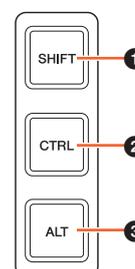
MODIFIERセクション



概要

修飾ボタンのセクションです。このセクションのボタンは、コンピューターのキーボードの[Shift]、[Ctrl]/[Command]、[Alt]/[Option]と同じように機能します。

各部の名称と機能



① [SHIFT]

Shiftの機能を使用します。

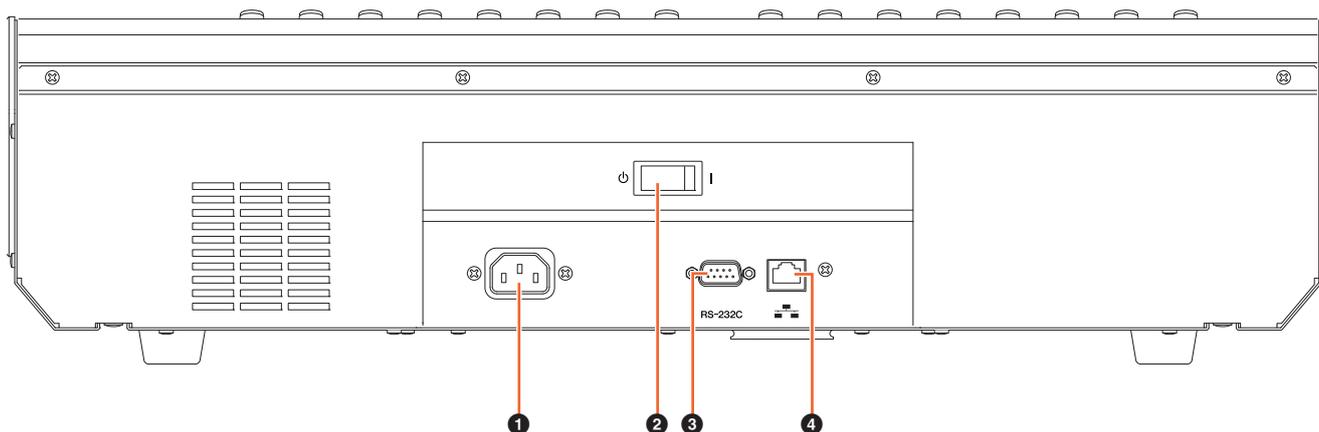
② [CTRL]

Ctrl/Commandの機能を使用します。

③ [ALT]

Alt/Optionの機能を使用します。

リアパネル



① [AC IN]

電源ケーブルを接続します。

② [電源スイッチ]

電源をオン(I)/オフ(O)します。

注記

電源スイッチのオン/オフを連続して切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

③ [RS-232C]

RS-232Cケーブルを接続します。この端子から、KVMスイッチのRS-232C端子に接続します。KVMスイッチに接続してから、KVMスイッチに送信するデータをNUAGE Workgroup Managerで設定すると、複数のDAWソフトウェアを「DAW SELECTセクション」(19ページ)で切り替えたときに、映像、マウス、およびキーボードも同時に切り替えることができます。詳細は、NUAGE Workgroup Manager (24ページ)の取扱説明書(PDF)をご参照ください。

④ [ネットワーク]

イーサネットケーブルを接続します。

ソフトウェアの説明

NUAGE FADER Setup

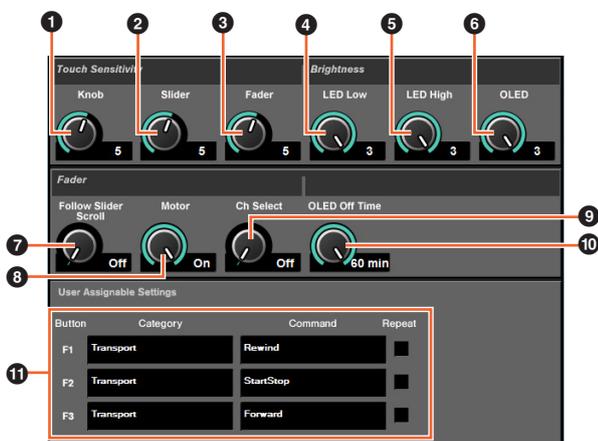


概要

Nuage Faderの基本設定をNuendoから操作するソフトウェアです。本体にあるノブやフェーダーのタッチセンスの感度を調節したり、LEDや[マルチファンクションディスプレイ]の輝度を調節したりできます。NUAGE FADER Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。

複数台のNuage Faderを接続したときは、すべてのNuage Faderで同じ設定になります。

各部の名称と機能



1 Knob

[マルチファンクションノブ]のタッチセンスの感度を調節します。数値が大きくなるほど、感度が高くなります。

2 Slider

[タッチスライダバー]のタッチセンスの感度を調節します。数値が大きくなるほど、感度が高くなります。

3 Fader

[フェーダー]のタッチセンスの感度を調節します。数値が大きくなるほど、感度が高くなります。

4 LED Low

LEDの暗点灯時の輝度を調節します。数値が大きくなるほど、輝度が高くなります。

5 LED High

LEDの点灯時の輝度を調節します。数値が大きくなるほど、輝度が高くなります。

6 OLED

[チャンネルネームディスプレイ]の輝度を調節します。数値が大きくなるほど、輝度が高くなります。

7 Follow Slider Scroll

[タッチスライダバー]でチャンネルをスクロールしているときに、[フェーダー]が追従する機能をオン/オフします。オフにすると、チャンネルのスクロールを止めたときに[フェーダー]の位置が変化します。

8 Motor

[フェーダー]のモーターの電源をオン/オフします。電源がオフの場合、[フェーダー]で操作するパラメーターの値と[フェーダー]が同じ位置になったときに、パラメーターを操作できます。

9 Ch Select

[フェーダー]をタッチしてチャンネルを選択する機能をオン/オフします。

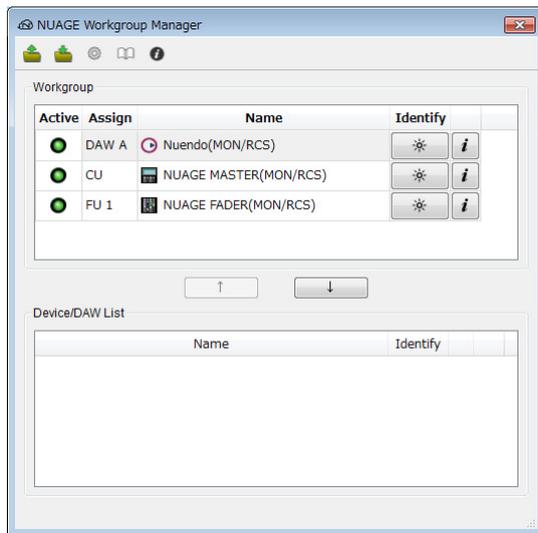
10 OLED Off Time

[チャンネルネームディスプレイ]が自動で消灯する時間を設定します。

11 User Assignable Settings

「USER ASSIGNABLEセクション」(19ページ)にあるボタンに機能を割り当てます。まず、「Category」をクリックしてカテゴリーを選択します。次に、「Command」をクリックしてコマンドを選択します。「Repeat」にチェックを入れると、ボタンを押し続けたときに連続で動作します。

NUAGE Workgroup Manager



概要

Nuageのシステムにおいて、機器やDAWソフトウェアを1つのWorkgroupとして管理するためのソフトウェアです。

NUAGE Workgroup Managerの詳細は、NUAGE Workgroup Managerの取扱説明書(PDF)をご参照ください。

NOTE

NUAGE Workgroup Managerの取扱説明書を開くには、タスクトレイ(Windows)またはメニューバー(Mac)にあるNUAGE Workgroup Managerのアイコンをダブルクリックして画面を開いたあと、「Manual」アイコンをクリックします。

困ったときは (オペレーション編)

Pro Toolsとつながらない

- ・「Pro Toolsのコントロール」(26ページ)の設定は完了しましたか？

[フェーダー]のモーターが動作しない

- ・ [フェーダー]のモーターの電源がオフになっていませんか？ NUAGE FADER Setupの「Motor」(23ページ)の設定を確認してください。

[チャンネルネームディスプレイ]が勝手に消灯してしまう

- ・ ディスプレイ保護のため、一定時間操作しないと[チャンネルネームディスプレイ]は自動で消灯します。消灯するまでの時間は、NUAGE FADER Setupの「OLED Off Time」(23ページ)で設定してください。

CHANNEL STRIPセクションにある [REC]がオンにできない

- ・ 「オーディオ」チャンネルの場合、「入力ルーティング」を設定してください。

[タッチスライダバー]でチャンネルをスクロールしているときに[フェーダー]が追従しない

- ・ [フェーダー]が[タッチスライダバー]に追従する機能がオフになっています。NUAGE FADER Setupの「Follow Slider Scroll」(23ページ)をオンにしてください。

資料

セットアップガイドの目次

安全上のご注意

- 注記(ご使用上の注意)
- お知らせ

はじめに

- 開発者からのメッセージ
- 付属品
- 別途ご用意いただくもの
- 取扱説明書の読みかた

準備

- 全体の流れ
- 設置および接続
- 電源の準備
- TOOLS for NUAGEのインストール
- NUAGEのWorkgroupの設定

困ったときは(セットアップ編)

資料

- オペレーションマニュアルの目次
- ファームウェアのアップデート
- タッチセンスの感度の調節
- 輝度の調節
- フェーダーの動きや位置の調節(キャリブレーション)
- 本体を工場出荷時の状態に初期化
- 寸法図
- 仕様
- 保証とアフターサービス
- 保証書

四角ボタンのラベルの交換

四角ボタンのラベルを別のものに交換できます。縦10 mm x 横10 mmの透明もしくは白半透明のシートをご用意ください。キャップをはずし、シートを交換したらキャップを付けます。

Pro Toolsのコントロール

はじめに

Nuage FaderやNuage Masterは、NuendoやCubase以外に、Pro Tools (Macのみ)をコントロール(基本機能のみ)することもできます。

NOTE

- ・ Nuage Faderは2台まで、Nuage Masterは1台まで接続できます。
- ・ Nuendoと一緒に使用する必要があります。また、NUAGE Workgroup Managerで、メインの DAW (DAW A)をNuendoに設定する必要があります。

ここではその接続方法、設定方法、および各ボタンの機能を説明します。なお、Nuage Fader、Nuage Master、Nuendoなどの準備はすべて完了し、使用している前提で説明します。

接続方法

使用するNuage FaderやNuage Masterと同じネットワークに、Pro ToolsがインストールされたMacを接続します。

NOTE

Mac本体にイーサネット端子が2つ以上ある場合、本体の1番目の端子に接続してください。

設定方法

NUAGE PT Bridgeのインストール

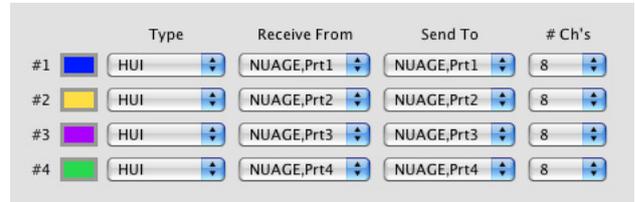
NUAGE PT Bridgeは、Nuage FaderやNuage MasterでPro Tools (Macのみ)をコントロールするためのソフトウェアです。NUAGE PT Bridgeは、Pro ToolsがインストールされているMacにインストールします。NUAGE PT Bridgeは、TOOLS for NUAGEをインストールするときに、インストールするソフトウェアとして選択するとインストールされます。まだNUAGE PT Bridgeをインストールしていない場合はインストールしてください。

TOOLS for NUAGEは、下記ウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://proaudio.yamaha.co.jp/downloads/>

Pro ToolsのMIDI Controllersの設定

1. Pro Toolsを起動します。
2. 「Setup」メニューから「Peripherals」を選んで、「Peripherals」ウィンドウを開きます。
3. 「MIDI Controllers」タブをクリックします。
4. 次の画面を参考に設定します。



次の構成の場合、「#1」だけ設定します。

- ・ Nuage Master 1台

次の構成の場合、「#1」と「#2」を設定します。

- ・ Nuage Fader 1台
- ・ Nuage Fader 1台とNuage Master 1台

次の構成の場合、「#1」から「#4」まで設定します。

- ・ Nuage Fader 2台
- ・ Nuage Fader 2台とNuage Master 1台

NUAGE Workgroup Managerへの登録

前述の「Pro ToolsのMIDI Controllersの設定」をすると、NUAGE Workgroup ManagerにPro Toolsが表示されます。Pro ToolsをNuendoと同じWorkgroupに登録してください。

これで準備は完了です。Nuage FaderまたはNuage MasterにあるDAW SELECTセクションのボタンで、コントロールするDAWソフトウェアを切り替えることができます。Pro Toolsをコントロールするときの、Nuage Faderのボタンの機能は、後述の「各ボタンの機能」をご参照ください。

各ボタンの機能

CHANNEL STRIPセクション

[Fader]	チャンネルレベルの設定またはフリップモードでのセンドレベルの設定に使用します。
[Touch slider bar]	スライド操作でチャンネルをスクロールします。
[Channel color]	割り当てなし。
[Channel name display]	チャンネルストリップの名前やオートメーションモード、センド先等、さまざまな情報を表示します。
[SOLO]	チャンネルのソロ設定をします。
[MUTE]	チャンネルをミュートします
[SEL]	チャンネルの選択に使用します。
[MON]	割り当てなし。
[REC]	Pro Toolsのチャンネルをレコーディング可能状態(アーミング)にします。アーミングされたチャンネルのキーインジケータが点滅し、レコーディングが始まると点灯します。
[W]	オートメーションのタッチ、ラッチ、ライト、オフを順番に切り替えます。
[W]と[R]の点滅および点灯とオートメーションモードの関係は、次のとおりです。	
オートメーションモード	[R] [W]
オフ	消灯 消灯
リード	点灯 消灯
タッチ/ラッチ/ライト	消灯 点滅(待機中) /点灯(記録中)
トリム+リード	点灯 点滅
トリム+タッチ/ラッチ/ライト	点滅(待機中) 点灯 /点灯(記録中)
[R]	オートメーションのリードをオン/オフします。ボタンの点滅および点灯の詳細は、[W]の説明をご参照ください。
[e] (edit)	割り当てなし。
[Multi function knob] (upper)	
[Multi function button A]/[Multi function button B] (upper)	
[Multi function knob] (lower)	パン/センドレベルを設定します。
[Multi function button A]/[Multi function button B] (lower)	割り当てなし。

CHANNEL VIEW CONTROLセクション

[CHANNEL VIEW memory 1] – [CHANNEL VIEW memory 4]	割り当てなし。
[INPUT]	
[AUDIO]	
[OUTPUT]	
[FX]	
[GROUP]	
[OTHERS]	
[EVENT ON TR]	
[EVENT CYCLE]	
[PLAYING CH]	
[◀ LOCK] (lock left)	
[▶ LOCK] (lock right)	
[LINK]	
[HIDE]	
[SEL CH]	
[EXPAND]	
[ALL CH]	
[◀] (left)	チャンネルを左に一つずつスクロールします。[BANK]がオンのときは、1バンク左にスクロールします。
[BANK]	このキーがオン(点灯)のときに[◀]、[▶]キーを押すとチャンネルが1バンク分スクロールします。
[▶] (right)	チャンネルを右に一つずつスクロールします。[BANK]がオンのときは、1バンク右にスクロールします。

SECTION CONTROLセクション

[METER]	割り当てなし。
[▼] (down)	
[▲] (up)	
[QUICK CTRL]	
[PRE]	
[ROUTING]	
[PAN]	このキーを押すと、エンコーダーは、そのチャンネルのパンポットノブとして機能します。押すとインジケータが点灯します。
[SENDS]	このキーを押すと、エンコーダーはセンドレベルのコントロールノブとして機能します。押すとインジケータが点灯し、SEND Aが自動的に選択されます。

[CUES]	割り当てなし。
[INSERT]	
[DYN]	
[EQ]	
[Sub parameter 1]	SEND A~Eを選択します。選択しているセンドのキーインジケータが点灯します。
[Sub parameter 2]	
[Sub parameter 3]	
[Sub parameter 4]	
[Sub parameter 5]	
[Sub parameter 6]	割り当てなし。
[Sub parameter 7]	
[Sub parameter 8]	

AUTOMATIONセクション

[ON]	割り当てなし。
[LATCH]	
[PREVIEW]	
[PUNCH]	

WORKSPACEセクション

[WORKSPACE 1]	ミックスウィンドウをアクティブウィンドウに切り換えます。
[WORKSPACE 2]	編集ウィンドウをアクティブウィンドウに切り換えます。
[WORKSPACE 3]	トランスポートウィンドウを開閉します。ウィンドウが開いている間はインジケータが点灯します。
[WORKSPACE 4]	割り当てなし。

CONTROL ROOMセクション

[DOWNMIX]	DAW AのNuendoを操作。 ^{*1}
[DIM]	
[CONTROL ROOM LEVEL knob]	
[SOLO CLEAR]	
[LISTEN]	
[METER RESET]	
[PHONES]	

PAGE CONTROLセクション

[PAGE]	割り当てなし。
[ESC]	
[ENTER]	
[▲]/[◀]/[▼]/[▶] (up/left/down/right)	

USER ASSIGNABLEセクション

[F1] - [F3]	割り当てなし。
-------------	---------

DAW SELECTセクション

[DAW A] - [DAW C]	Nuendoの操作時と同様。
[MAIN DISP]	

UNIT LINKセクション

[UNIT LINK]	割り当てなし。
-------------	---------

FLIP セクション

[KNOB 1]	Pro Toolsをフリップモードに切り換えます。フリップモード中は[KNOB1]のLEDが点灯します。
[KNOB 2]	他のキーと併用して機能操作を変更します。Macコンピューターのキーボードにあるオプションキーに相当します。

MODIFIERセクション

[SHIFT]	他のキーと併用して機能操作を変更します。Macコンピューターのキーボードにあるシフトキーに相当します。
[CTRL]	他のキーと併用して機能操作を変更します。Macコンピューターのキーボードにあるコントロールキーに相当します。
[ALT]	他のキーと併用して機能操作を変更します。Macコンピューターのキーボードにあるコマンドキーに相当します。

*1 Control Roomに関する機能は、常にメインのDAW (DAW A)であるNuendoを操作します。したがって、Pro Toolsの音声信号をNuageのシステムから出力するには、Pro Toolsのオーディオインターフェースの出力をNuageのシステムのオーディオインターフェースの入力に接続し、Nuendoのメニュー「デバイス」→「VSTコネクション」で入出力を設定する必要があります。

NUAGE V2.1で追加された機能

16インサートスロットの操作に対応 (Nuage Fader、Nuage Master)	30
VST MultiPannerのAmbisonicsモードに対応 (Nuage Master)	31
Rio3224-D2、Rio1608-D2のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)	31
RMP-D8のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader).....	32

16インサートスロットの操作に対応 (Nuage Fader、Nuage Master)

Nuageから操作できるインサートスロットの数が8から16に増えました。対象DAWはNuendo 10以降、またはCubase 10以降です。

チャンネルストリップ



チャンネルストリップのインサートスロットをSECTION CONTROLセクションの[▲][▼]で選択できます。

INSERTページ



タブで1～8、9～16のインサートスロットの表示が切り替わります。

VST MultiPannerのAmbisonicsモードに対応 (Nuage Master)

Nuendo 8.3以降、Cubase 10以降で追加になったVST MultiPannerのAmbisonicsモードの操作ができるようになりました。

Ambisonicsの操作画面



Rio3224-D2、Rio1608-D2のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)

第2世代のRシリーズ(Rio3224-D2、Rio1608-D2)の操作ができるようになりました。操作や設定の方法は第1世代のRシリーズ(V1.5で対応)と同じです。

詳細は、NUAGE V1.5追加機能の「Rシリーズ(Dante対応 I/Oラック)のリモートコントロールに対応(Nuage Fader)」をご参照ください。(71ページ)

RMP-D8のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)

Rupert Neve Designs社RMP-D8のHAゲインを、[マルチファンクションノブ]で操作できるようになりました。

RMP-D8を接続したインプットチャンネルの「HA GAIN」と「HA GC」を操作するには、SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押したあと[サブパラメーター 2]を押します。

特定のチャンネルの「HA GAIN」、「HA GC」、「HA HPF」(オン/オフのみ)、「HA +48V」を操作するには、RMP-D8を接続したインプットチャンネルの[e](エディット)を押したあとSECTION CONTROLセクションの[PRE]を押します。



ステレオやサラウンドなど、複数のチャンネルで構成される入力バスをアサインしている場合、Nuendoの「オーディオコネクション」でバス構成の一番上に表示されるチャンネル(ステレオの場合は「左」)のパラメーターがラベルエリアに表示されます。Nuage Faderで設定されたチャンネルの値が、そのバスのすべてのチャンネルに適用されます(「左」(チャンネル)の設定が画面面上に表示されていない「右」(チャンネル)にも適用されます)。バスを構成するチャンネルの値が一致していない場合、パラメーターの後に「*」が付きます。(「HA GAIN*」など)

操作	機能
「HA GAIN」	HAゲインを調節します。
「HA GC」	ゲインコンペンセーションをオン/オフします。
「HA HPF」	ハイパスフィルターをオン/オフします。 フィルター周波数は操作できません。
「HA +48V」	+48 Vファンタム電源をオン/オフします。 オンにするには[マルチファンクションボタンA]を長押しします。

RMP-D8の設定

Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE HA Remote Setup」をクリックして設定画面を開き、使用するDante Acceleratorを設定します。

NOTE

サポートOSのうちMac OS X 10.11では使用できません。

NUAGE V2.0で追加された機能

MMP1のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader、Nuage Master、NUAGE Workgroup Manager).....	34
設定(事前準備)	34
モニターソース、キュー出力の切り替え (Nuage Master).....	36
キュー出力、スタジオスピーカー出力の状態表示と調整 (Nuage Master).....	38
モニターコントロール (Nuage Fader、Nuage Master)	40
トークバックのオン/オフ (Nuage Master)	43
Elevation Pattern選択機能を追加 (Nuage Fader).....	44
プロジェクトウィンドウ以外でのカーソル操作機能を追加 (Nuage Master)	45

MMP1のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader、Nuage Master、NUAGE Workgroup Manager)

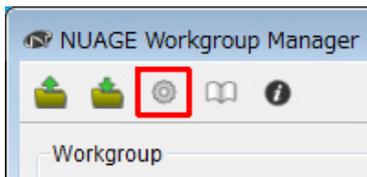
MMP1の機能の一部をリモートコントロールできるようになりました。

設定(事前準備)

NUAGE Workgroup Managerでコントロール元のNuage FaderやNuage Masterとコントロール先のMMP1を設定します。

1. NUAGE Workgroup Managerを開きます。

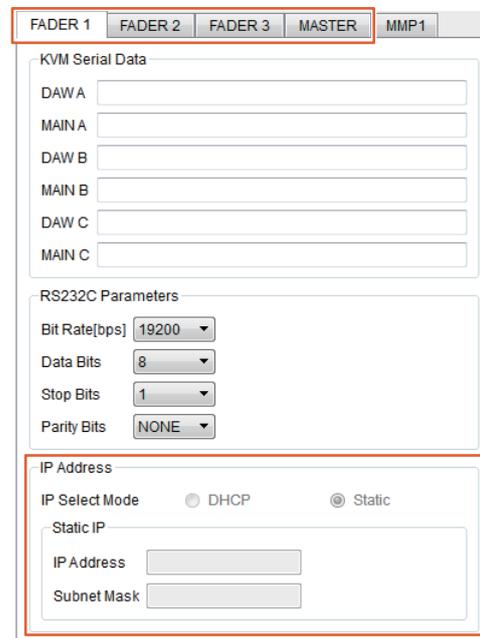
2. 「Setup」をクリックします。



3. IPアドレスを設定します。

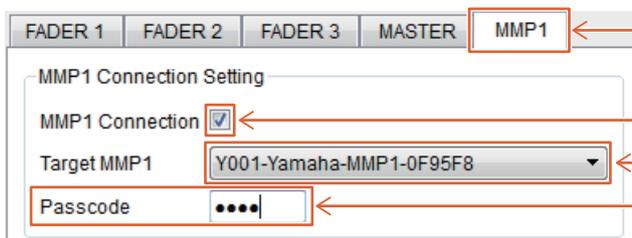
MMP1をNuage FaderやNuage Masterからコントロールするには、Nuage FaderやNuage MasterのIPアドレスをMMP1と同じサブネット内に設定する必要があります。MMP1のIPアドレスの設定については、MMP1セットアップガイドおよびMMP1オペレーションマニュアルをご参照ください。

コントロール元になるNuage FaderまたはNuage Masterのタブをクリックし、IPを設定します。



IPアドレスの設定内容は、MMP1のIPアドレス設定によって異なります。

4. コントロールするMMP1を選択します。



① 「MMP1」タブを選択し、

② チェックを入れ、

③ コントロールするMMP1を選択します。

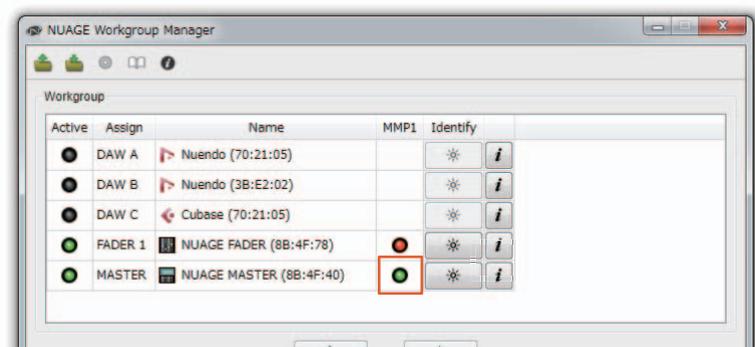
④ MMP1にPasscodeが設定されている場合には、そのPasscodeを入力します。

NOTE

②のチェックを外すと、MMP1のリモートコントロール用に使用されるNuage Fader、Nuage Masterの各キーは従来の動作に戻ります。

5. MMP1との接続を確認します。

MMP1と正しく接続されると、MMP1インジケータが緑色に点灯します。



MMP1と正しく接続できず、MMP1インジケータが赤く点灯する場合は、

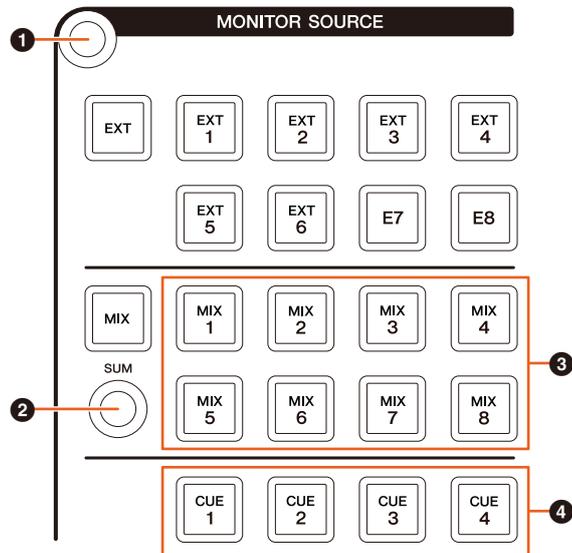
- IPアドレスの設定が間違っている。
- Passcodeが間違っている。

といった原因が考えられます。IPアドレスの設定やPasscodeをご確認ください。

モニターソース、キュー出力の切り替え (Nuage Master)

Nuage MasterのMONITOR SOURCEセクションを使って、MMP1でモニターする音声やキュー出力を選択できます。

MONITOR SOURCEセクション



- ① [マルチファンクションディスプレイ]に「Monitor Sourceページ」を表示します。
- ② オン(点灯)にすると、複数のMonitor Sourceを同時に選択できます。
- ③ モニターする音声をMonitor Source 1～8から選択します。
- ④ モニターする音声をキュー出力1～4から選択します。

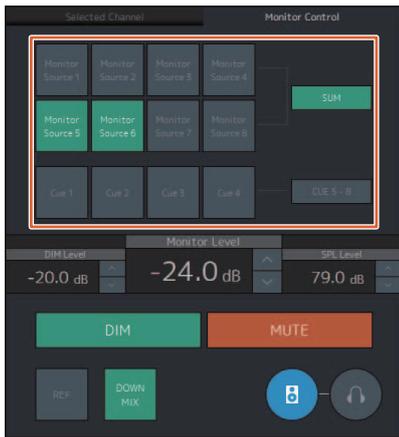
Monitor Sourceページ



- ① 操作対象としてメインモニター出力/ヘッドホン出力を切り替えます。
- ② オン(点灯)にすると、複数のMonitor Sourceを同時に選択できます。
- ③ モニターする音声をMonitor Source 1～8から選択します。
- ④ モニターする音声をキュー出力 1～8から選択します。
- ⑤ ダウンミックス音声出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。(メインモニター出力選択時のみ)
- ⑥ Monitor Source選択時は、各Monitor Sourceの入力レベルを調整します。
キュー出力選択時は、Cue Source 1～8から選択しているキュー出力へのセンドレベルを設定します。

これらの項目は、MMP1 Editor、MMP1 Controllerの赤枠で囲んだ項目と連動します。

MMP1 Editor — Main画面 — Monitor Controlタブ



MMP1 Controller — Control view



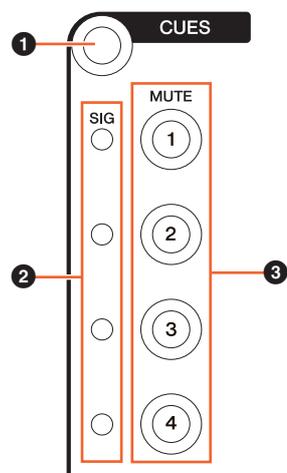
MMP1 Controller — Editor view — Main Monitor



キュー出力、スタジオスピーカー出力の状態表示と調整 (Nuage Master)

Nuage MasterのCUESセクションを使って、MMP1のキュー出力やスタジオスピーカー出力の状態表示や調整ができます。

CUESセクション



- 1 [マルチファンクションディスプレイ]に「Cuesページ」を表示します。
- 2 キュー出力1～4の出力状態を表示します。-40dB未満は消灯、-40dB以上-20dB未満は緑■、-20dB以上0dB未満はオレンジ■、クリップ状態は赤■で表示されます。
- 3 キュー出力1～4のミュートのオン(点灯)/オフ(消灯)状態を表示します。

Cuesページ



- 1 表示対象をキュー出力とスタジオスピーカー出力から選択します。
- 2 キュー出力1～8またはスタジオスピーカー出力1～8のオン(点灯)/オフ(消灯)状態を表示します。
- 3 キュー出力1～8またはスタジオスピーカー出力1～8のメーターを表示します。
- 4 キュー出力1～8またはスタジオスピーカー出力1～8の出力レベルを調整します。

これらの項目は、MMP1 Editorの赤枠で囲んだ項目と連動します。

MMP1 Editor — Sub画面

The screenshot displays the MMP1 Editor interface with several control sections:

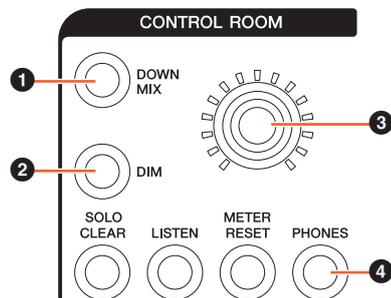
- Top Panel:** Includes a 'Main Monitor Out' section with level meters for C, LFE, LRs, RRs, and LRs. A central 'Cue 1-4 TB' section is highlighted with an orange box, showing four cue channels (Cue 1-4) with 'TB' (Talkback) buttons.
- Monitor Section:** Contains 'Monitor Source Trim' and 'Cue Source Trim' controls, each with eight faders ranging from -24.0 dB to 0.0 dB.
- Cue Output Trim Section:** This section is highlighted with an orange box and includes:
 - 'Cue Output Trim' with eight faders (-24.0 dB to 0.0 dB).
 - 'MUTE' buttons for each of the eight channels.
 - 'Studio Speaker Output Trim' with eight faders (0.0 dB to 0.0 dB).
 - 'MUTE' buttons for each of the eight channels.
- Oscillator Section:** Features frequency selection (50Hz, 100Hz, 400Hz, 1kHz, 10kHz), noise options (Pink Noise), and an 'Oscillator Trim' control (-20.0 dB).
- Snapshot Section:** A table for managing snapshots.

No	Name	Store	Recall
1	Initialize	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	Snapshot 1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	Snapshot 2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
- Talkback Section:** Eight 'Talkback Dest' buttons (Dest 1-8) arranged in a 4x2 grid.
- Trim Section:** Four trim controls for pairs 1-1, 1-2, 2-1, and 2-2, each ranging from -24.0 dB to 0.0 dB.
- Bottom Panel:** Includes 'Lip Sync Delay' (50.00 ms), 'LFE Trim' (ON), and 'LFE Filter' (ON).

モニターコントロール (Nuage Fader、Nuage Master)

Nuage FaderやNuage MasterのCONTROL ROOMセクションを使って、MMP1のダウンミックスやディマーのオン/オフ、モニター出力レベルの設定などができます。

Nuage Fader — CONTROL ROOMセクション



- 1 ダウンミックス音声出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 2 ディマーをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

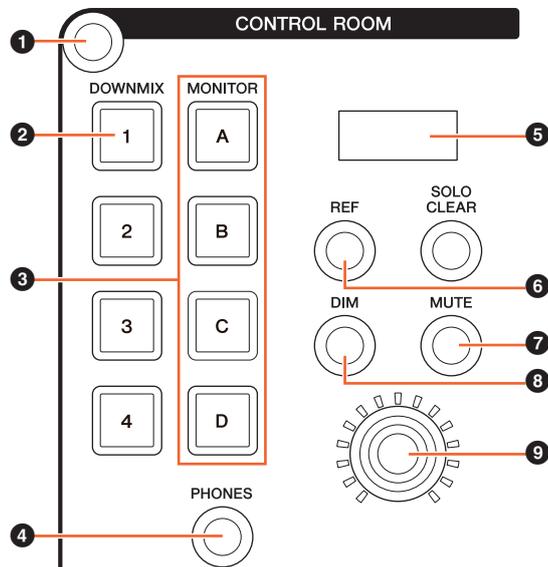
NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 3 メインモニター出力またはヘッドホン出力のレベルを設定します。

- 4 操作対象としてヘッドホン出力(点灯)/メインモニター出力(消灯)を切り替えます。

Nuage Master — CONTROL ROOMセクション



- 1 [マルチファンクションディスプレイ]に「Control Roomページ」を表示します。

- 2 ダウンミックス音声出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 3 スピーカーセットA-Dを選択します。

- 4 操作対象としてヘッドホン出力(点灯)/メインモニター出力(消灯)を切り替えます。

- 5 Monitor LevelまたはHeadphone Monitor Level、SPL Levelを表示します。

- 6 Monitor Levelの値をリファレンスレベルの値に変更します。2秒以上長押しすると点滅して、現在のMonitor Levelの値がリファレンスレベルとして記憶されます。

NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 7 メインモニター出力またはヘッドホン出力のミュートをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

- 8 ディマーをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

NOTE

操作対象としてヘッドホン出力を選択しているときは無効になります。

- 9 メインモニター出力またはヘッドホン出力のレベルを設定します。

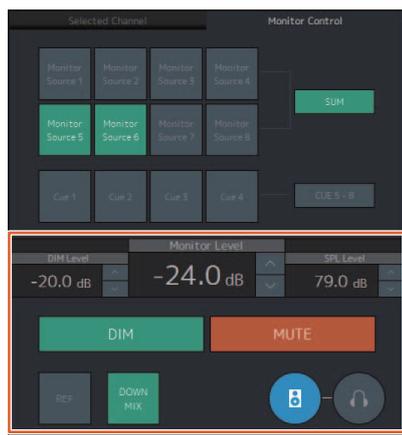
Control Roomページ



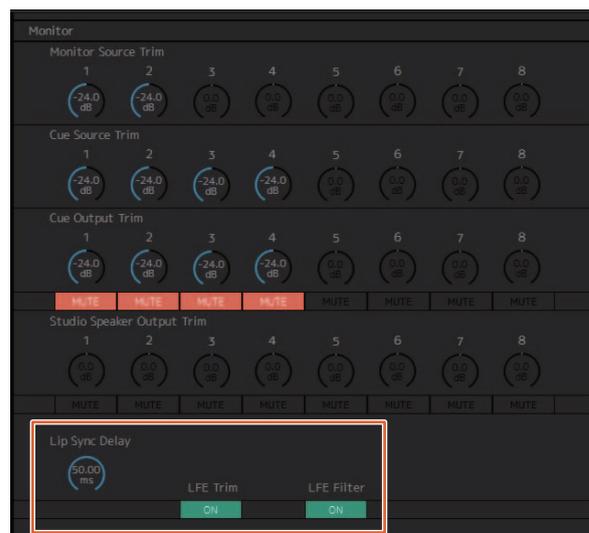
- ❶ メインモニター出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ❷ Monitor Levelを表示します。
- ❸ デイマーをオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ❹ Monitor Levelの値をリファレンスレベルの値に変更します。2秒以上長押しすると点滅して、現在のMonitor Levelの値がリファレンスレベルとして記憶されます。
- ❺ MUTE/SOLOを切り替えるスピーカーを選択します。
- ❻ ヘッドホン出力をオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ❼ Headphone Monitor Levelを表示します。
- ❽ MUTEを押すと、❺で選択したスピーカーがミュートされます。SOLOを押すと、❺で選択したスピーカーから音が出ます。
- ❾ Headphone Monitor Level、DIM Level、Monitor Level、SPL、LFE Filter、LFE Trim Level、Lip Sync Delayを操作します。

これらの項目は、MMP1 Editor、MMP1 Controllerの赤枠で囲んだ項目と連動します。

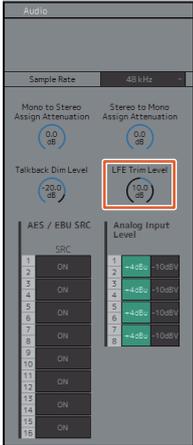
MMP1 Editor — Main画面 — Monitor Controlタブ



MMP1 Editor — Sub画面 — Monitorセクション



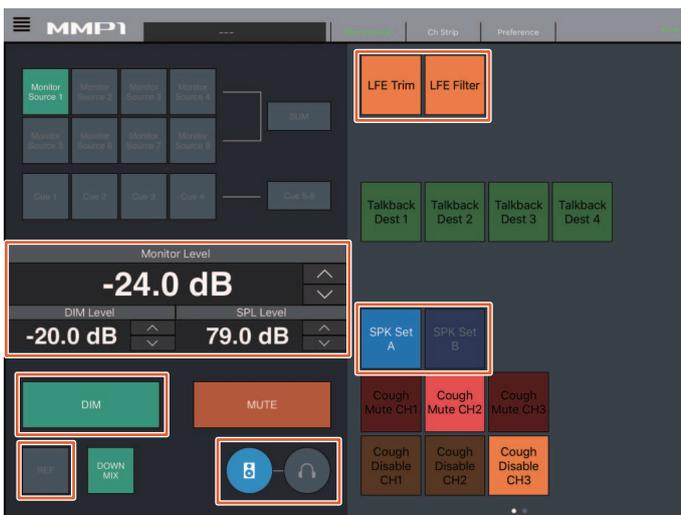
MMP1 Editor — Settings画面 — Sceneタブ/MISC/Audio



MMP1 Controller — Control view



MMP1 Controller — Editor view — Main Monitor



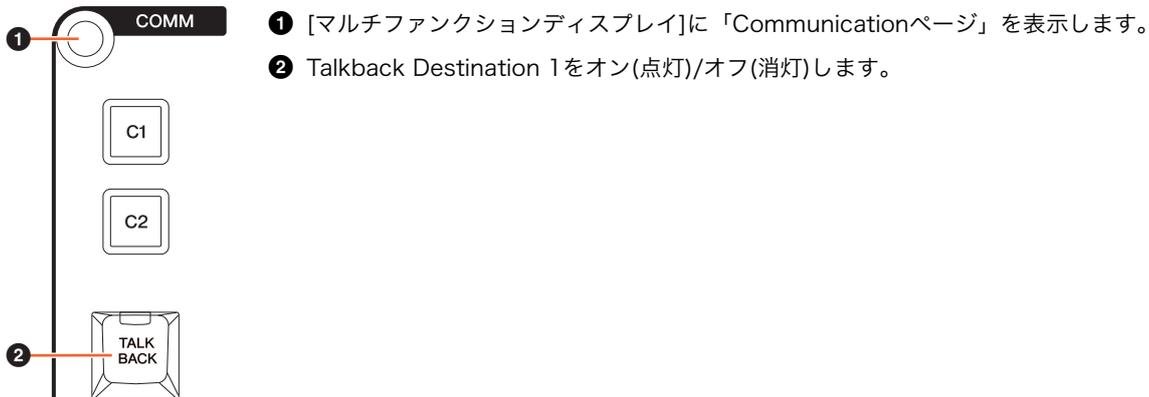
NOTE

表示されるユーザーアサインナブル機能は、お使いの設定によって異なります。

トークバックのオン/オフ (Nuage Master)

Nuage MasterのCOMMUNICATIONセクションを使って、トークバックをオン/オフできます。

COMMUNICATIONセクション



Communicationページ



- ① Talkback Destination 1-8をオン(点灯)/オフ(消灯)します。
- ② トークバックに使用するマイクの入力レベルを調整します。
- ③ Talkback Button Behaviorを設定します。
Latchキーやボタンを押すたびにオン/オフが切り替わります。
Momentaryキーやボタンを押している間オンになり、離すとオフになります。

これらの項目は、MMP1 Editor、MMP1 Controllerの赤枠で囲んだ項目と連動します。

MMP1 Editor — Sub画面 — Talkbackセクション



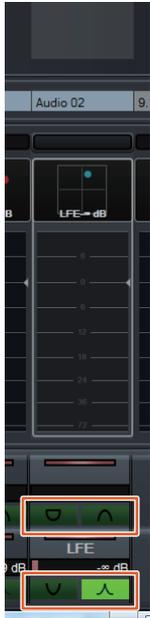
MMP1 Controller — Control view



Elevation Pattern選択機能を追加 (Nuage Fader)

Nuage FaderでNuendo 7.1以降のVST MultiPanner プラグインのElevation Patternを選択できるようになりました。NuendoでVST MultiPannerを選択すると、ラベルエリアにElevation Patternが表示されます。対応するマルチファンクションボタンでElevation Patternを切り替えられます。

チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード

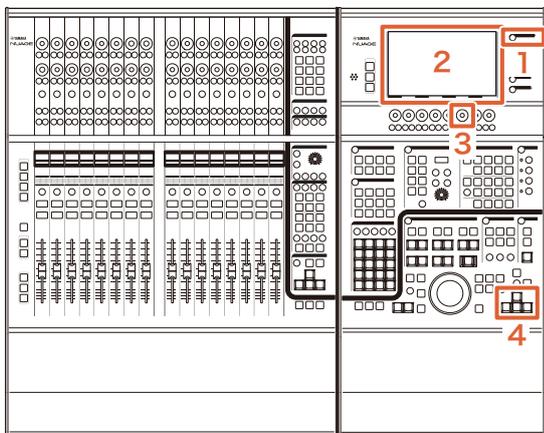


プロジェクトウィンドウ以外でのカーソル操作機能を追加 (Nuage Master)

GENERAL CONTROLセクションの[▲]/[◀]/[▼]/[▶]を押したときの操作対象をDAWの「プロジェクトウィンドウ」と最前面に表示されているウィンドウのどちらにするか、選択できるようになりました。

操作方法

イラスト内、画面内の数字は手順番号を表します。



1. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[SETUP]
を押します。

2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「PAGE 3」
タブをタッチします。

3. 「PC KBD Emu Mode」に対応した[マルチファンク
ションノブ]でカーソル操作の対象を選択します。

Off	DAWの「プロジェクトウィンドウ」を操作対象にします。
-----	-----------------------------

On	最前面に表示されているウィンドウを操作対象にします。
----	----------------------------

4. GENERAL CONTROLセクションの[▲]/[◀]/[▼]/[▶]
で操作します。

NUAGE V1.7で追加された機能

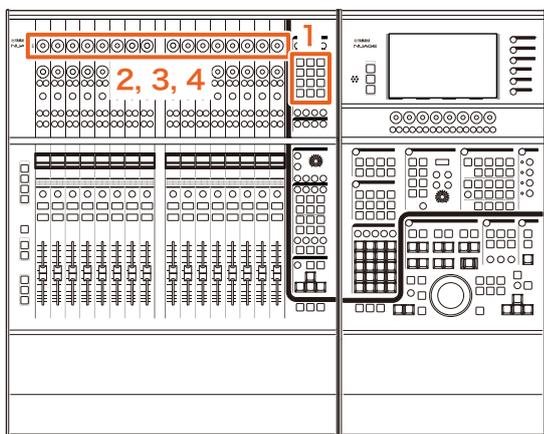
VCAフェーダーへのチャンネル割り当て機能を追加 (Nuage Fader)	47
SECTION CONTROLセクションのキーの割り当て変更機能を追加 (Nuage Fader)	47
CHANNEL VIEW CONTROL セクションのキーの割り当て変更機能を追加 (Nuage Fader)	48
CHANNEL VIEWメモリーを拡張 (Nuage Fader)	48
全チャンネルタイプの一括表示機能を追加 (Nuage Fader)	48
フォルダートラックの開閉機能を追加 (Nuage Master)	49
クイックコントロールのパラメーターの設定方法を変更 (Nuage Fader、Nuage Master)	49
「ミキサー」画面幅の調整機能を拡張 (Nuage Fader)	50
GPIOに対応 (Nuage Master)	51
トラックごとのオートメーションモードを設定できる機能を追加 (Nuage Master)	53
Control Roomチャンネルの インサート操作を追加 (Nuage Master)	53
CONTROL ROOMページにパラメーターを追加 (Nuage Master)	54
プロジェクトファイルの保存に関する設定を追加 (Nuage Master)	55
Avid Pro Toolsのショートカットキーに対応 (Nuage Master)	55
Avid Pro Toolsのインサートに対応 (Nuage Fader)	56
NUAGE PT Bridgeの画面の表示方法を追加/変更 (NUAGE PT Bridge)	59
Danteネットワークインターフェースのロック機能を追加 (Nuage I/O)	59
ダイレクトモニタリングの設定を初期化する機能を追加 (Nuage I/O)	60

VCAフェーダーへのチャンネル割り当て機能を追加 (Nuage Fader)

Nuendo (7以降)で作成したVCAフェーダーに、Nuage Faderを使って、チャンネルを割り当てたり、割り当てを解除したりできるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



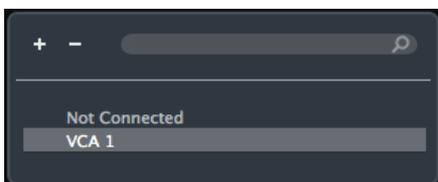
1. SECTION CONTROLセクションの[VCA]を押します。

NOTE

SECTION CONTROLセクションのボタンのどれかに、あらかじめ「VCA」を割り当てておく必要があります(47ページ)。

2. VCAフェーダーに割り当てたい(または割り当てを解除したい)チャンネルの[マルチファンクションノブ](上段)を押します。

「ミキサー」にポップアップが表示されます。



NOTE

VCAフェーダーが作成されていない場合は「未接続」だけが表示されます。

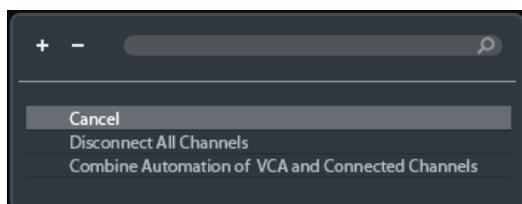
3. [マルチファンクションノブ](上段)を回して、チャンネルを割り当てるVCAフェーダー(または「未接続」)を選択します。

4. [マルチファンクションノブ](上段)を押します。

選択が決定され、チャンネルがVCAフェーダーに割り当てられます。(または、割り当てが解除されます。)

NOTE

VCAフェーダーに対応する[マルチファンクションノブ](下段)を押すと、下記のポップアップが表示され、VCAフェーダーの設定を変更できます。

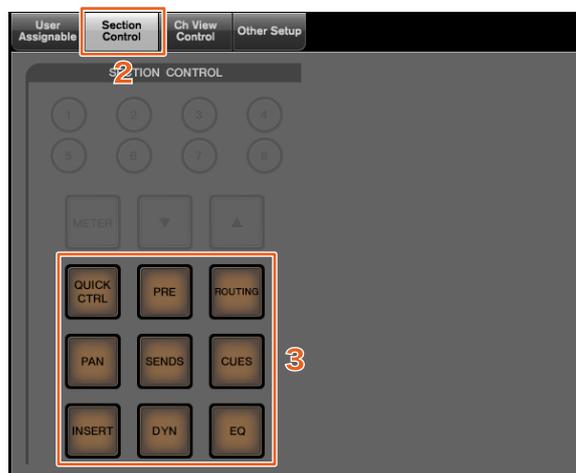


SECTION CONTROLセクションのキーの割り当て変更機能を追加 (Nuage Fader)

SECTION CONTROLセクションのキーの割り当てを変更できるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。

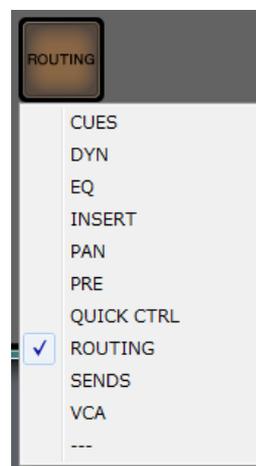


1. NuendoまたはCubaseメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。

2. 「Section Control」タブをクリックします。

3. 変更したいキーをクリックします。

機能の候補がポップアップリストで表示されます。



4. キーに割り当てる機能をリストから選択します。

NOTE

- 「---」を選択すると、割り当てが解除されます。
- 割り当ての変更に合わせて、Nuage Fader本体のキーレベルも変更することをお勧めします。Nuage Fader本体のキートップは取り外し可能です。

CHANNEL VIEW CONTROL セクションのキーの割り当て変更機能 を追加 (Nuage Fader)

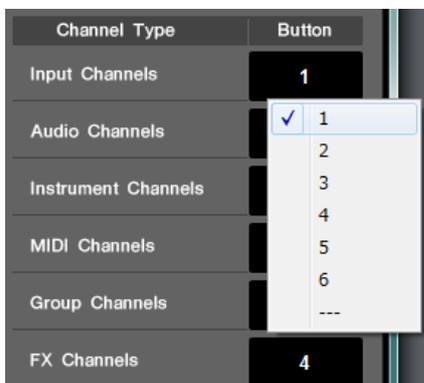
CHANNEL VIEW CONTROLセクションのキーの割り当てを変更できるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。



1. NuendoまたはCuabaseメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。
2. 「Ch View Control」タブをクリックします。
3. キーに割り当てる「Channel Type」横の「Button」欄の数字をクリックします。
キーの番号がポップアップリストで表示されます。



4. 該当するChannel Typeを割り当てるキーの番号を選択します。

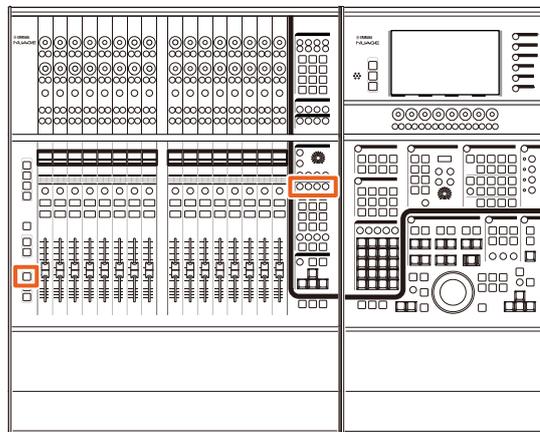
NOTE

- 1つのキーに複数のChannel Typeを割り当てられます。
- 割り当ての変更に合わせて、Nuage Fader本体のキーラベルも変更することをお勧めします。Nuage Fader本体のキートップは取り外し可能です。

CHANNEL VIEWメモリーを拡張 (Nuage Fader)

チャンネルの表示状態を記録/呼び出しできるCHANNEL VIEWメモリーの数が増えました。

操作方法



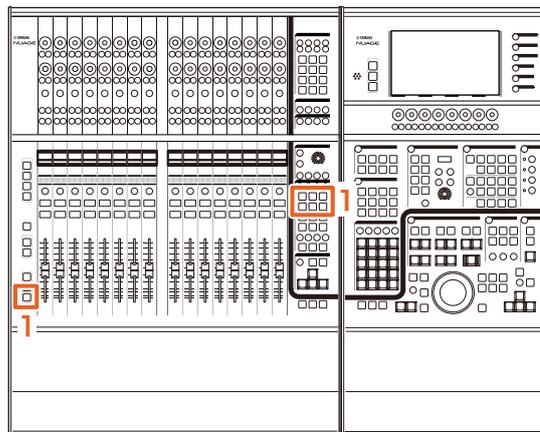
- メモリー1～メモリー4の操作は、変更ありません。2秒以上の長押しで記録、短く押しと呼び出しになります。
- [SHIFT]を押しながら[CHANNEL VIEWメモリー1]～[CHANNEL VIEWメモリー4]のどれかのキーを押すと、メモリー5～メモリー8の記録/呼び出しができます。

全チャンネルタイプの一括表示機能 を追加 (Nuage Fader)

CHANNEL VIEW CONTROLセクションの[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]に対応するチャンネルタイプを一括して表示できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



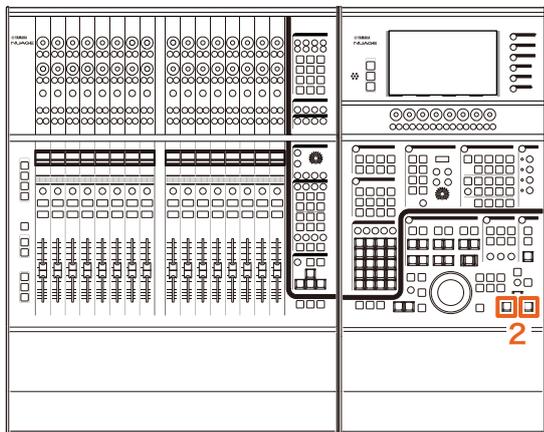
1. MODIFIERセクションの[ALT]を押しながら、[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]のどれかを押します。
[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]に対応するチャンネルタイプがすべて表示されます。

フォルダトラックの開閉機能を追加 (Nuage Master)

プロジェクトウィンドウでフォルダトラックを選択しているとき、Nuage Masterの操作でフォルダトラックを開閉できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



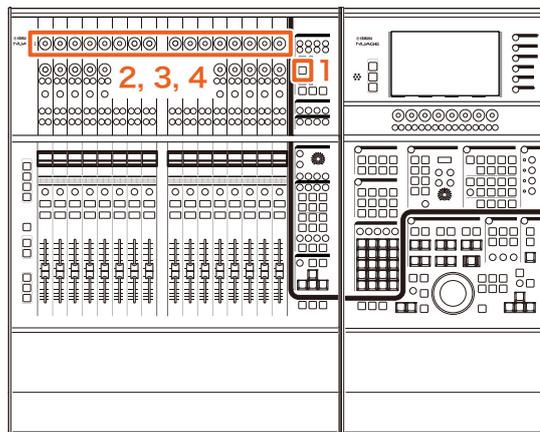
1. NuendoまたはCubaseのプロジェクトウィンドウでフォルダトラックを選択します。
2. GENERAL CONTROLセクションの[◀]と[▶]を同時に押します。
フォルダトラックが閉じているときは開き、開いているときは閉じます。

クイックコントロールのパラメーターの設定方法を変更 (Nuage Fader、Nuage Master)

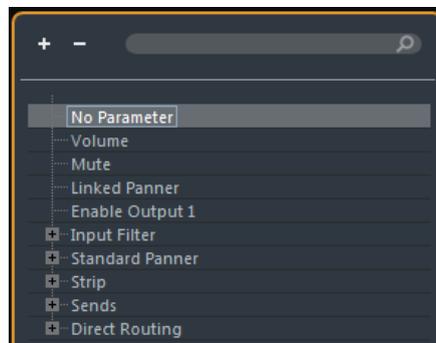
「クイックコントロール」のパラメーターの割り当てを、Nuage FaderやNuage Masterから設定できるようになりました。

操作方法(Nuage Fader)

イラスト内の数字は手順番号を表します。



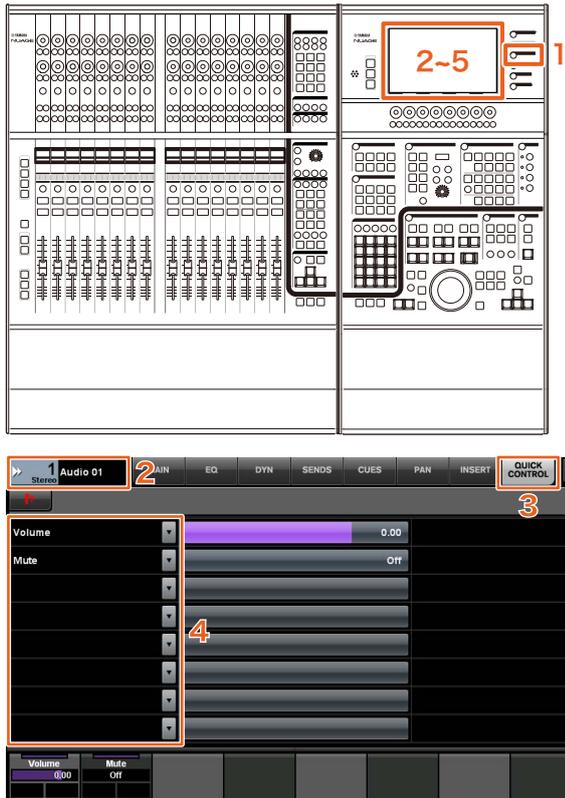
1. SECTION CONTROLセクションの[QUICK CTRL]を押します。
2. パラメーターを変更する[マルチファンクションノブ](上段)を押します。
「ミキサー」にポップアップが表示されます。



3. [マルチファンクションノブ](上段)を回して、割り当てるパラメーターを選択します。
4. [マルチファンクションノブ](上段)を押します。
選択が決定され、パラメーターが[マルチファンクションノブ]に割り当てられます。「パラメーターなし」を選択している場合は、割り当てが解除されます。

操作方法(Nuage Master)

イラスト内、画面内の数字は手順番号を表します。



1. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[CHANNEL]を押します。
2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「チャンネル情報」をタッチして、「QUICK CONTROL」を変更するチャンネルを選択します。
3. [マルチファンクションディスプレイ]内の「QUICK CTRL」タブをタッチします。
4. [マルチファンクションディスプレイ]内で、変更する「クイックコントロール」のパラメーターをタッチします。
ポップアップが表示されます。



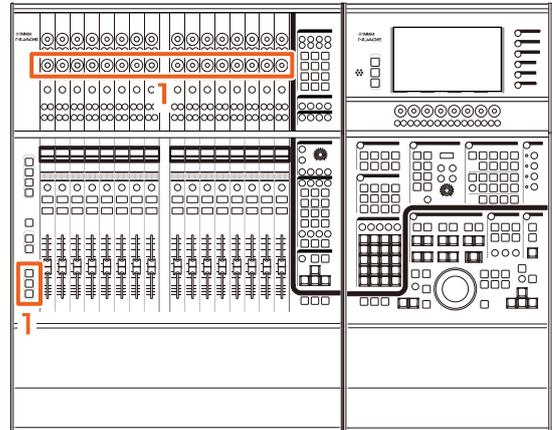
5. 割り当てるパラメーターをタッチして選択します。

「ミキサー」画面幅の調整機能を拡張 (Nuage Fader)

従来の項目に加えて、「ミキサー」下端位置も調整できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. MODIFIERセクションの[SHIFT]、[CTRL]、[ALT]を同時に押したまま、[マルチファンクションノブ](下段)を操作します。

操作する[マルチファンクションノブ]に応じて、「ミキサー」の左端、右端、下端の位置やメーターの縦幅をそれぞれ調整できます。

どの[マルチファンクションノブ]がどの調整項目に対応するかは、「ミキサー」のラベルエリアをご参照ください。

NOTE

MODIFIERセクションの[SHIFT]、[CTRL]、[ALT]を同時に押したまま、SECTION CONTROLセクションの[サブパラメーター 1]～[サブパラメーター 4]を押すと、「ミキサー」を表示するディスプレイを切り替えることができます。

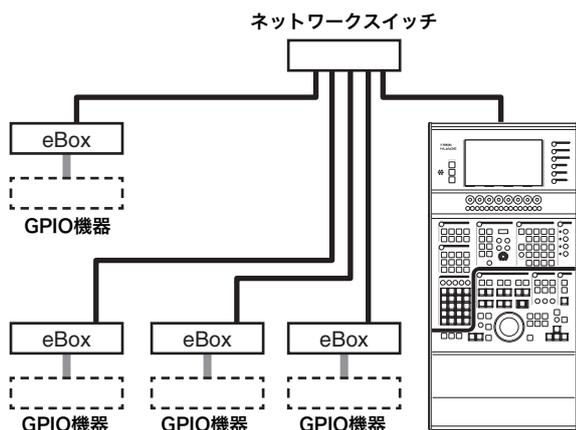
GPIOに対応 (Nuage Master)

JL Cooper eBOX/eBOX GPI8を経由して、GPIOの入力をNuage Masterで受けたり、Nuage MasterからGPIOで信号を出力したりできるようになりました。

NOTE

- Nuage MasterがeBOXクライアントになりますので、Nuage Masterと通信するすべてのeBOXをサーバーモードに設定してください。
- 正しく通信できなくなる可能性がありますので、eBOXのパワード機能はオフにしてください。

接続例

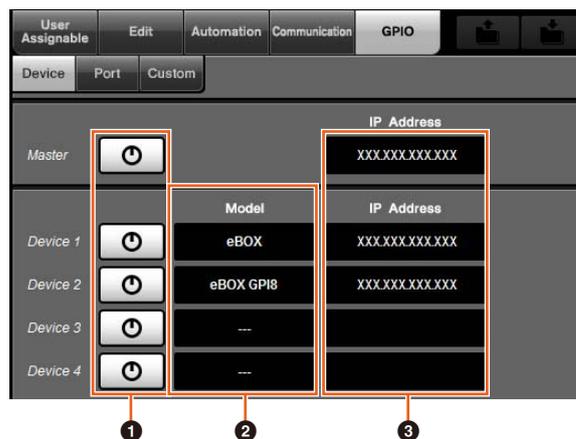


操作方法

1. NuendoまたはCubaseメニューの「デバイス」→「NUAGE MASTER Setup」をクリックします。
2. 「GPIO」タブをクリックします。
3. 以下の各画面の設定を行ないます。

Deviceページ

GPIO機能のオン/オフやGPIO機能を使うための基本的な設定をします。



① オン/オフ

Nuage MasterやeBOXのGPIO機能をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

② Model

GPIO機器を接続しているeBOXの種類を選択します。最大4台のeBOXまたはeBOX GPI8を接続できます。

③ IP Address

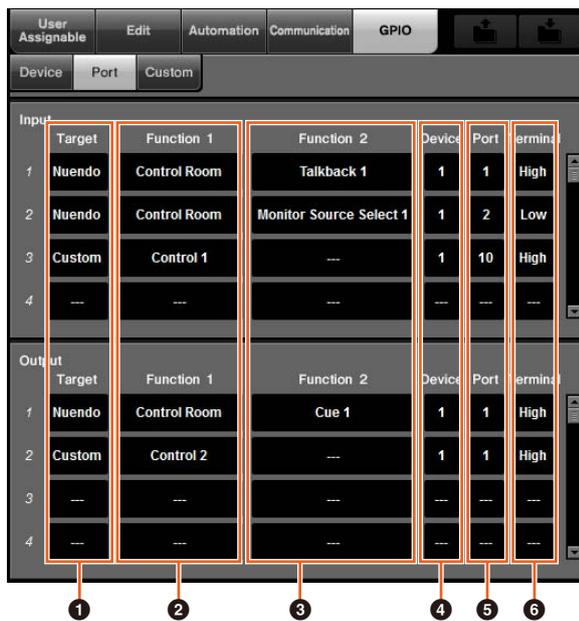
Nuage MasterとeBOXのIPアドレスを入力します。Nuage MasterとeBOXそれぞれに重複しないIPアドレスを設定してください。

例：

Nuage Master	192.168.254.103
eBOX1	192.168.254.102
eBOX2	192.168.254.104

Portページ

GPIOの機能を選択します。入力、出力それぞれに最大32の機能を選択できます。



1 Target

入出力の対象をDAWと「Custom」のどちらにするか選択します。「Custom」の機能の詳細は、Customページで定義できます。

2 Function 1

GPIOの機能を選択します。TargetがDAWのときは、「Control Room」が自動的に選択されます。Targetが「Custom」のときは、Customページで定義した機能から選択できます。

3 Function 2

GPIOの機能を選択します。TargetがDAWのときは、タッチしたときに表示されるポップアップリストから機能を選択できます。Targetが「Custom」のときは、「---」が自動的に選択されます。

4 Device

入出力の対象となるeBOXを選択します。この欄の数字は、Deviceページで設定した「Device 1」～「Device 4」に対応しています。

5 Port

Device欄で設定したeBOXのポート(GPIO端子のピン)を選択します。ポート1はピン2、ポート24はピン25になります。詳細は、eBOXの取扱説明書をご参照ください。

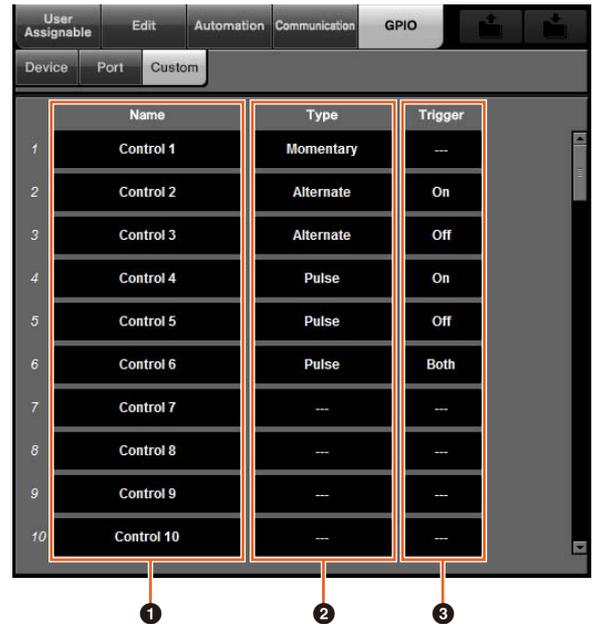
6 Terminal

入力ポート電圧による動作と出力ポート電圧を定義します。

High	Inputの場合、入力ポート電圧がHighでオンになります。 Outputの場合、機能がオンのときに出力ポート電圧をHighにします。
Low	Inputの場合、入力ポート電圧がLowでオンになります。 Outputの場合、機能がオンのときに出力ポート電圧をLowにします。

Customページ

GPIO機能を定義します。最大16の機能を定義できます。



1 Name

定義するGPIO機能の名前を付けることができます。

2 Type

入出力信号の種類を「Momentary」、「Alternate」、「Pulse」から選択します。

Momentary	関連付けられた入力ポートがオンの間、機能をオンにします。
Alternate	関連付けられた入力ポートがTriggerの条件を満たすたびに、機能のオン/オフを反転します。
Pulse	関連付けられた入力ポートがTriggerの条件を満たした直後から一定時間(約250ms)、機能をオンにします。

3 Trigger

出力オン/オフの条件を定義します。「Type」が「Momentary」のときは、この項目は設定不要です。「Alternate」のときは、以下の条件で出力が反転します。「Pulse」のときは、以下の条件で出力がオンになります。

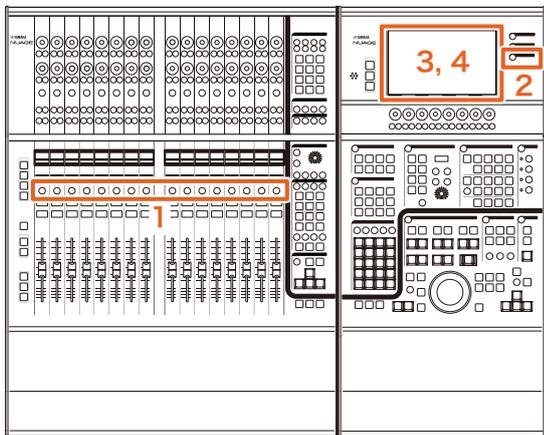
On (Alternate/Pulse)	関連付けられた入力ポートがオフからオンに変わったときに出力を変化させます。
Off (Alternate/Pulse)	関連付けられた入力ポートがオンからオフに変わったときに出力を変化させます。
Both (Pulseのみ)	関連付けられた入力ポートのオン/オフが変わったときに出力を変化させます。

トラックごとのオートメーションモードを設定できる機能を追加 (Nuage Master)

[マルチファンクションディスプレイ]で、トラックごとのオートメーションモードを設定できるようになりました。

操作方法

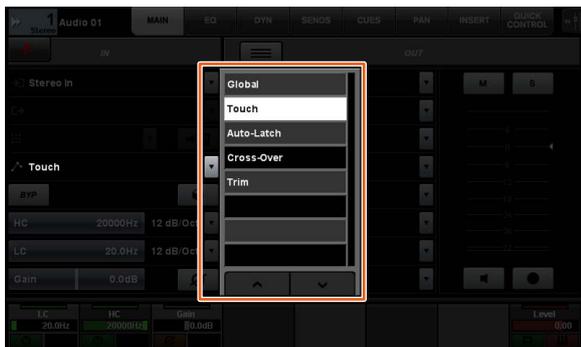
イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. SECTION CONTROLセクションの[SEL]を押して、オートメーションモードを設定するトラックを選択します。
2. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[CHANNEL]を押します。
3. 下の画面の赤枠内をタッチします。



4. トラックに設定するオートメーションモードをタッチします。

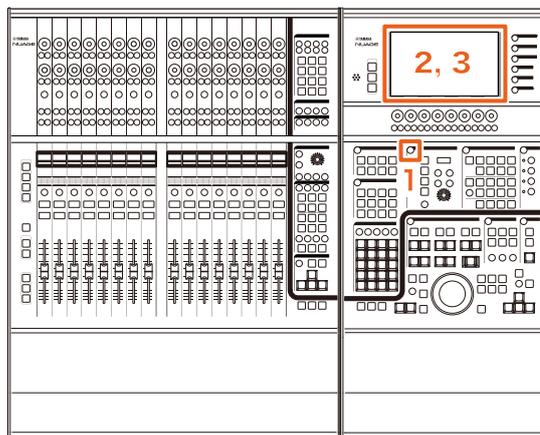


Control Roomチャンネルのインサート操作を追加 (Nuage Master)

[マルチファンクションディスプレイ]で、Control Room各チャンネルへの「インサート」を操作できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. CONTROL ROOMセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。
2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「INSERT」タブをタッチします。



3. 「インサート」を設定します。詳細は、以下の画面説明をご参照ください。



1 Control Roomチャンネル選択

「INSERT」を操作する対象チャンネルを選択します。

2 Insert

割り当てているプラグインエフェクトが表示されます。タッチすると、プラグインエフェクトを選択する画面が表示されます。

3 プリセット

選択しているプリセットが表示されます。タッチすると、プリセットを選択する画面が表示されます。

4 オン/オフ

「INSERT」をオン(水色)/オフ(銀色)します。

5 BYP

「バイパス」をオン(橙色)/オフ(銀色)します。

6 e (エディット)

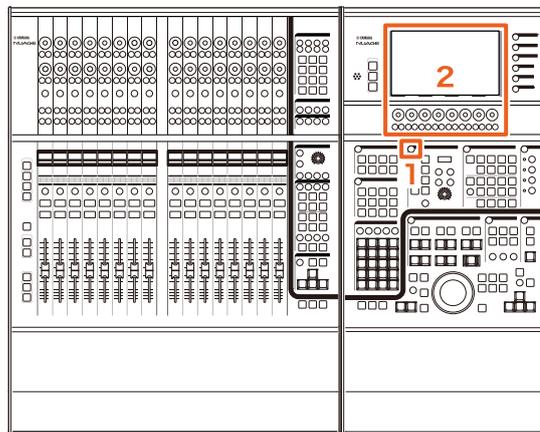
割り当てられているプラグインエフェクトのPLUG-INページを表示します。

CONTROL ROOMページにパラメーターを追加 (Nuage Master)

CONTROL ROOMページで、Click Level、Click Pan、Listen Level、Listen Dimを操作できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. CONTROL ROOMセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。

2. ラベルエリアの表示に対応した[マルチファンクションノブ]でパラメーターを変更します。



NOTE

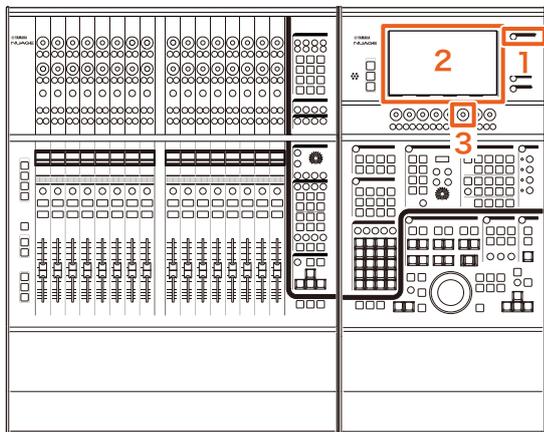
Click LevelとClick Panは、[マルチファンクションボタンA]、[マルチファンクションボタンB]で切り替えます。

プロジェクトファイルの保存に関する設定を追加 (Nuage Master)

GENERAL CONTROLセクションの[SAVE]を押したとき、プロジェクトファイルを上書きするか、新規ファイルとして保存するかを選択できるようになりました。

操作方法

イラスト内、画面内の数字は手順番号を表します。



1. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[SETUP]を押します。
2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「PAGE 3」タブをタッチします。
3. 「Save Button Operation」に対応した[マルチファンクションノブ]でプロジェクトファイルの保存方法を選択します。

Save	プロジェクトファイルを上書き保存
Ver.	プロジェクトファイルを新規ファイルとして保存

NOTE

新規ファイルとして保存されるプロジェクトファイルのファイル名は、元のファイル名に“-01”、“-02”といった枝番が付いたものになります。

Avid Pro Toolsのショートカットキーに対応 (Nuage Master)

Avid Pro ToolsのショートカットキーをNuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーに割り当てられるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。



1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの または をクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

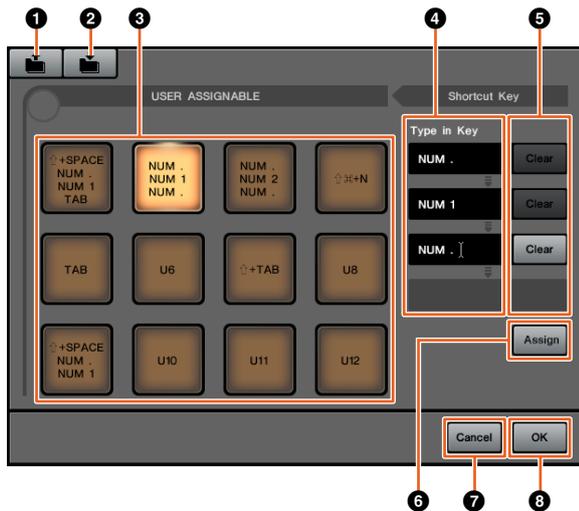
2. 「User Assignable Setup」をクリックします。
3. 画面上の任意のUSER ASSIGNABLEキーをクリックします。
クリックしたキーに割り当てられているショートカットキーが画面の「Shortcut Key」→「Type in Key」欄に表示されます。(ショートカットキーが割り当てられていない場合は、空欄になります。)
4. Type in Key欄に表示されているショートカットキー(または空欄)をクリックし、キーボードのキーを押します。

NOTE

- 1つのUSER ASSIGNABLEキーには最大4つのキーを登録できます。たとえば、[U2]に.(ピリオド)、1、.(ピリオド)、の3つのキーを登録した場合、[U2]を押すと、これらの3つのキーが順次押されたことになり、メモリーロケーション1が呼び出されます。
- ⌘(Command)、⌘(Control)、⇧(Shift)などのキーは、ほかのキーと組み合わせて登録します。
- ショートカットキーに使えないキーを押した場合、「Not Available」と表示され、そのキーは登録されません。

5. 「Assign」ボタンをクリックします。
ショートカットキーの変更が画面上のUSER ASSIGNABLEキーに反映されます。
6. 「OK」をクリックします。
ショートカットキーの変更がNuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーに反映されます。

User Assignable Setup画面



1 Open

保存されているショートカットキーの割り当てを読み込みます。

2 Save

ショートカットキーの割り当てを保存します。ショートカットキーの割り当ては".NPTB"ファイルとして保存されます。

3 U1~U12

割り当てられているショートカットキーが表示されます。クリックすると、Type in Key欄に割り当てられているショートカットキーを表示します。

NOTE

このボタンをダブルクリックすると、ボタンに任意の名前を付けることができます。

4 Type in Key

選択中のUSER ASSIGNABLEキーに割り当てられているショートカットキーが表示されます。Type in Key欄に表示されているショートカットキー (または空欄) をクリックし、キーボードのキーを押して、割り当てるショートカットキーを登録します。(「Assign」ボタンをクリックするまで変更は反映されません。)

5 Clear

ショートカットキーの割り当てを消去します。(「Assign」ボタンをクリックするまで変更は反映されません。)

6 Assign

Type in Key欄に表示されているショートカットキーを画面上のUSER ASSIGNABLEキーに反映します。このボタンをクリックすると、画面上のUSER ASSIGNABLEキーの表示が割り当てたショートカットキーに変わります。

7 Cancel

ショートカットキーの変更を破棄します。Nuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーの設定は変更されません。

8 OK

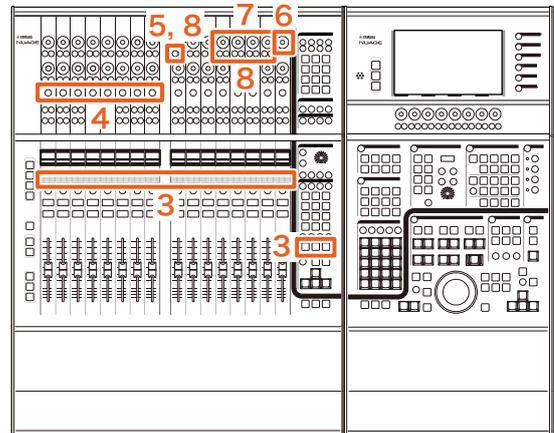
ショートカットキーの変更をNuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーに反映します。

Avid Pro Toolsのインサートに対応 (Nuage Fader)

Nuage Faderで、Avid Pro Toolsの「インサート」を操作できるようになりました。任意のチャンネルに「インサート」したり、「インサート」のパラメーターを編集したりできます。

操作方法(インサートの割り当て)

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの または をクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内の NUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

2. 「Plug-in Panel」 をクリックします。

3. 「インサート」するチャンネルをNuage Faderの CHANNEL STRIPセクション1~8内に移動します。

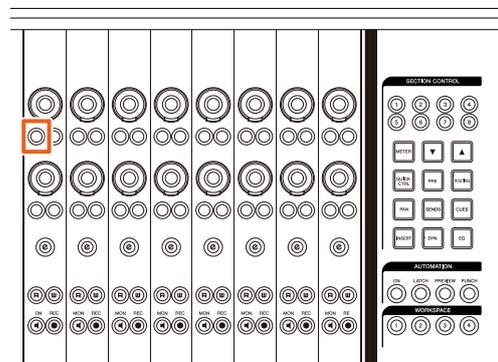
NOTE

複数のNuage Faderを使用している場合、左端のNuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1~8を使用します。

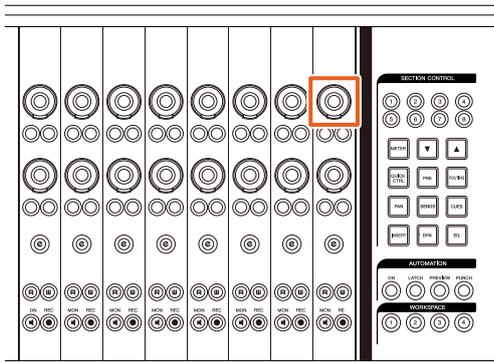
4. 移動した「インサート」対象チャンネルの[e]を押します。

5. 左から9番目の[マルチファンクションボタンA]を押します。

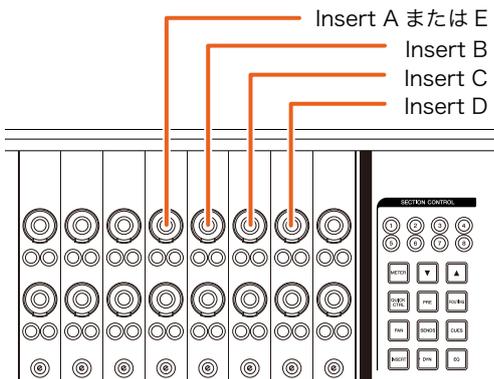
「ASSIGN」が赤く点滅します。



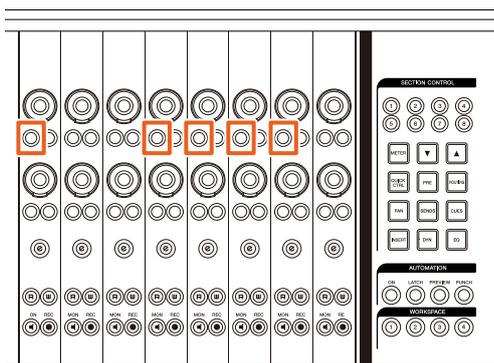
6. Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションの左から16番目(右端)の[マルチファンクションノブ]を回して、インサート先のグループA-DまたはEを選択します。Plug-in Panel画面に「Insert 1-4」(A-D)または「Insert 5」(E)が表示されます。



7. [マルチファンクションノブ]を回してインサートを選択します。操作する[マルチファンクションノブ]は「インサート」先のスロットによって異なります。

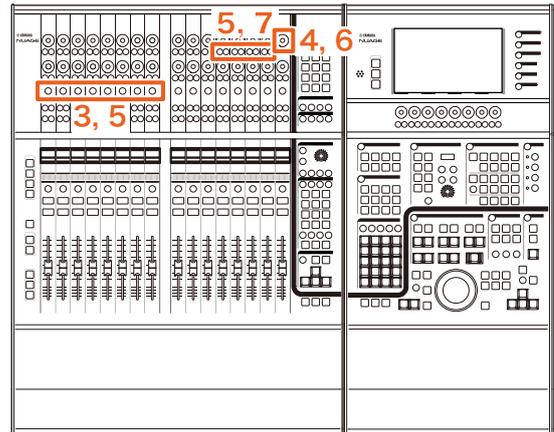


8. 左から9番目または「インサート」したチャンネルに対応する[マルチファンクションボタンA]を押します。選択したインサートが割り当てられます。



操作方法(パラメーターの変更)

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーのまたはをクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

2. 「Plug-in Panel」をクリックします。

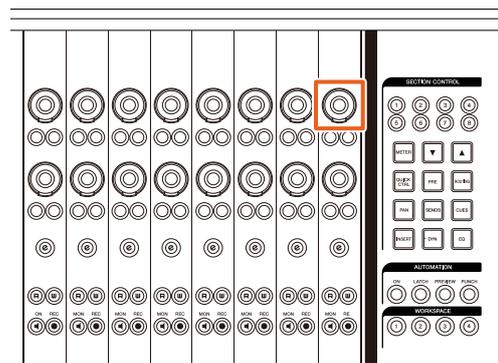
3. パラメーターを変更する「インサート」をAvid Pro Toolsで選択します。

NOTE

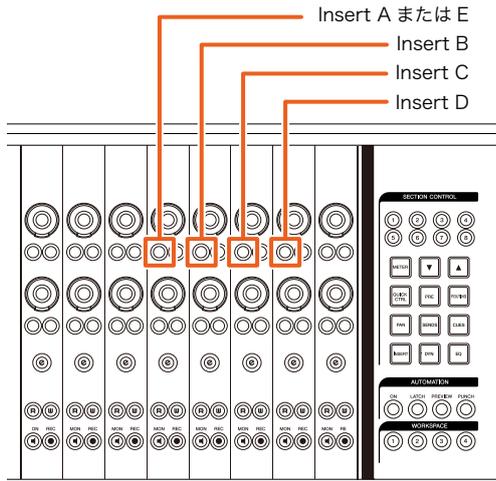
Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1~8の[e]でも対象チャンネルを選択できます。

4. Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションの左から16番目(右端)の[マルチファンクションノブ]を回して、インサート先のグループA-DまたはEを選択します。

Plug-in Panel画面に「Insert 1-4」(A-D)または「Insert 5」(E)が表示されます。



5. パラメーターを変更する「インサート」に対応する[マルチファンクションボタンA]を押します。

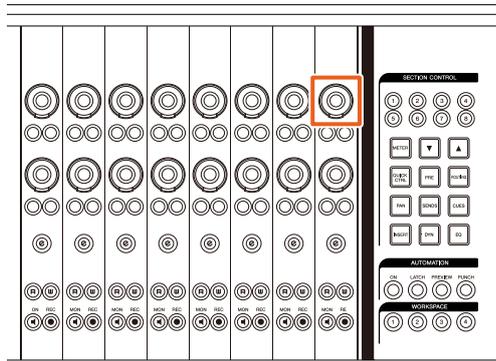


NOTE

手順4、5の代わりに、Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1~8の[e]をすばやく2回押すことでも、対応するチャンネルに「インサート」されているプラグインのパラメーターを呼び出すことができます。この場合、[e]をすばやく2回押すたびに対象となるインサートが切り替わります。

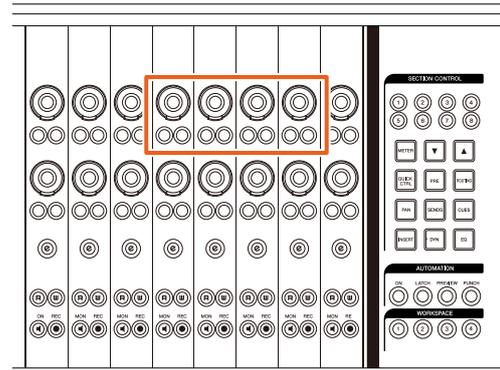
6. Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションの左から16番目(右端)の[マルチファンクションノブ]を回して、パラメーターを選択します。

同時に4つのパラメーターが表示されます。



7. パラメーターに対応する[マルチファンクションノブ]を回す、または[マルチファンクションボタン]を押してパラメーターの値を変更します。

変更した値は即時適用されます。



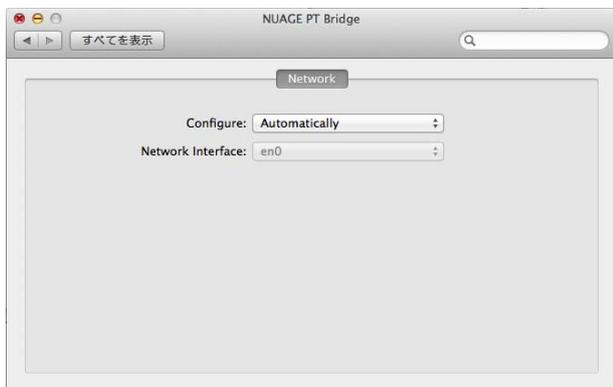
NOTE

- 左から10番目の[マルチファンクションボタンA]を押すと、パラメーター編集前と比較することができます。もう一度押すと、変更後の状態に戻ります。
- 左から11番目の[マルチファンクションボタンA]を押すと、「インサート」をバイパスすることができます。もう一度押すと、バイパスオフの状態に戻ります。

NUAGE PT Bridgeの画面の表示方法を追加/変更 (NUAGE PT Bridge)

従来、コンピューターの[システム環境設定]で表示していた下記の画面の表示方法を追加/変更しました。

Network画面



操作方法

1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの  または  をクリックします。

NOTE

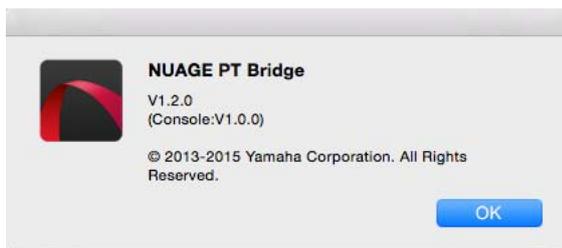
アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

2. 「Network Setup」 をクリックします。

NOTE

従来の[システム環境設定]→[NUAGE PT Bridge]でも表示できます。

About画面



操作方法

1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの  または  をクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

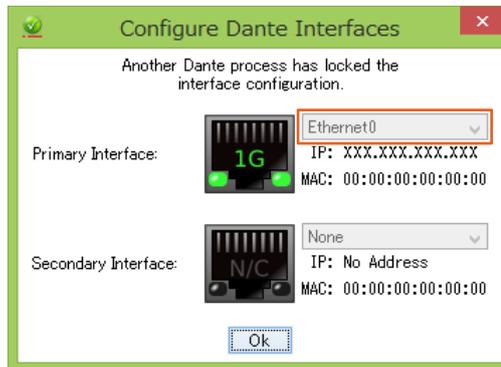
2. 「About」 をクリックします。

Danteネットワークインターフェースのロック機能を追加 (Nuage I/O)

NuendoまたはCubase起動中にDanteネットワークインターフェースが変更されないようにロックする機能を追加しました。

NOTE

NuendoまたはCubase起動中は、Dante Controllerのインターフェース選択のリストはグレー表示になり、選択できなくなります。



ダイレクトモニタリングの設定を初期化する機能を追加 (Nuage I/O)

Nuage I/Oのダイレクトモニタリングの設定を初期化できるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。



1. NuendoまたはCubaseメニューの「デバイス」→「NUAGE I/O Setup」をクリックします。
2. 「Direct Monitoring」タブをクリックします。
3. 「Reset」をクリックします。

ダイレクトモニタリングの設定が初期化され、以下の優先順位で自動的にバスが設定されます。

優先順位1	Control Roomのバス
優先順位2	Outputsのバス

NUAGE V1.6で追加された機能

Cubase Pro 8に対応 (Nuage Master、Nuage Fader)	62
Nuage I/O SetupのDirect Monitoring画面を更新 (Nuage I/O)	64
ステレオパンナーの切り替え機能を追加 (Nuage Fader)	64
チャンネルストリップにパラメーターを追加 (Nuage Fader)	65
チャンネルセッティングモードのパラメーター切り替えに対応 (Nuage Fader)	65
選択範囲でイベントを分割するショートカットを追加 (Nuage Master)	65
インサートの一括バイパス機能追加 (Nuage Fader)	66
ダイナミクスの一括バイパス機能追加 (Nuage Master)	66
複数のAvid Pro Tools切り替えに対応 (NUAGE Workgroup Manager)	66
RMio64-Dのリモートコントロールに対応 (NUAGE Workgroup Manager)	67
マーカージャンプ機能のポップアップをリスト表示に変更 (Nuage Master)	68
プロジェクトカーソル位置の指定方法を追加 (Nuage Master)	68
プロジェクト再生中の[ジョグホイール]有効/無効選択機能を追加 (Nuage Master)	69

Cubase Pro 8に対応 (Nuage Master、Nuage Fader)

Cubase Pro 8に対応しました。以下の新機能にも対応しています。

VCA Fader

VCA Faderの表示/非表示をCHANNEL CONTROLセクションの[OTHERS]で切り替えられます。

DeEsser

Nuage FaderやNuage Masterで、DeEsserのパラメータを操作できるようになりました。

(下記はNuage Masterの画面です。)



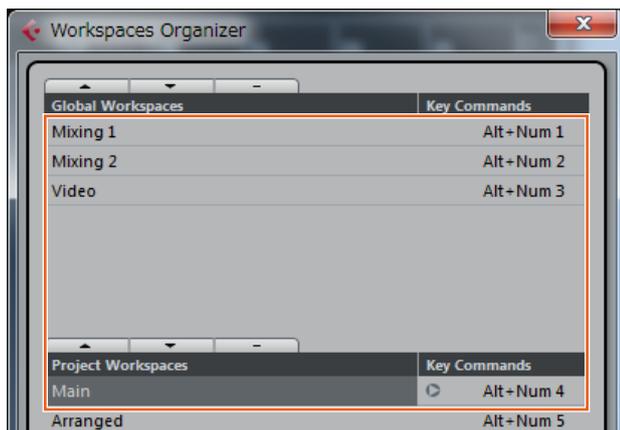
プラグインマネージャー

コレクションを作成して選択している場合、選択しているコレクション内のプラグインエフェクトだけが「インサート」選択時のリストに表示されます。

Nuage Masterの[マルチファンクションディスプレイ]では、表示されるフォルダー構造が2階層までに制限され、2階層目以下のプラグインエフェクトは、すべて2階層目に表示されます。

ワークスペース拡張

Nuage FaderのWORKSPACEセクションから呼び出せる「ワークスペース」は、「ワークスペースオーガナイザ」に表示される「ワークスペース」の内、上から4つめまでです。たとえば「グローバルワークスペース」が3つ、「プロジェクトワークスペース」が2つある場合は、上から「グローバルワークスペース」3つと「プロジェクトワークスペース」1つが[WORKSPACE 1]~[WORKSPACE 4]に割り当てられます。



ハイカット、ローカットのフィルター スロープ

- Nuage Faderのチャンネルストリップから「ハイカット」や「ローカット」のスロープを操作できます(65ページ)。
- Nuage MasterのCHANNEL CONTROL — MAINページで下記のパラメータを操作できます。



① BYP

インプットフィルターの「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

② プリセット

インプットフィルターのプリセットを選択する画面を開きます。

③ フィルタースロープ設定

「ハイカット」「ローカット」それぞれのフィルタースロープを選択します。

- Nuage Master、Nuage Faderの各EQグラフがフィルタースロープに対応しました。

CHANNEL CONTROL — EQページ



チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード



MIDIセンドのプリフェーダー / ポストフェーダー切り替え

Nuage MasterのCHANNEL CONTROL — SENDSページ
で下記のパラメーターを操作できます。



PRE

MIDIチャンネルの「プリフェーダー」「ポストフェーダー」
を切り替えます。[マルチファンクションボタンB]でも同様に
切り替え可能です。

MIDIイベントのトラックへの記録

Nuage MasterのCHANNEL CONTROL — INSERTページ
で下記のパラメーターを操作できます。



① **MIDI/Audio** (インストールトラック表示時のみ)
プラグインの種類を切り替えます。MIDIイベントをトラック
に記録するときは、「MIDI」を選択してください。

② ● (Record Output to Track)

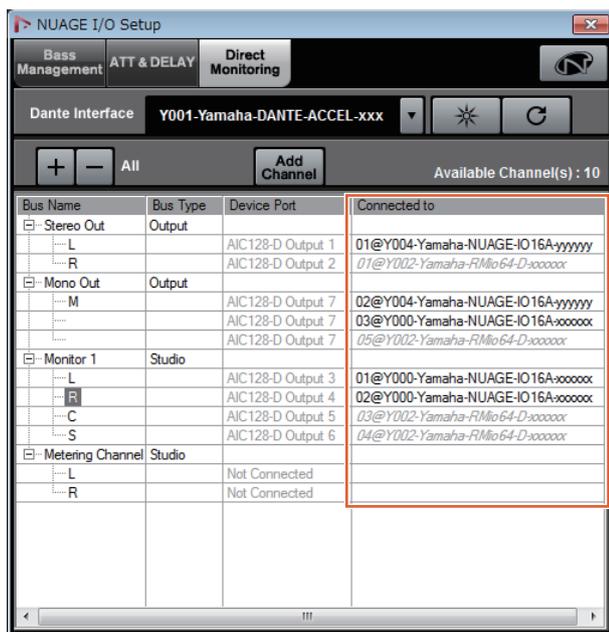
MIDIイベントの記録先としてMIDIトラックまたはインス
トルメントトラックを選択(点灯)/選択解除(消灯)します。

Nuage I/O SetupのDirect Monitoring画面を更新 (Nuage I/O)

NUAGE I/O SetupのDirect Monitoring画面にダイレクトモニタリングの対象となっている出力バスの接続先が表示されるようになりました。使用可能なNuage I/Oのポートが「Connected to」に表示されます。

NUAGE I/O Setup画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE I/O Setup」をクリックします。

NUAGE I/O Setup — Direct Monitoring画面



NOTE

- Dante Acceleratorの1つの出力ポートが複数のNuage I/Oのポートに接続されている場合は、対象となるポートは縦に並んで表示されます。
- NUAGE Workgroupに含まれていないNuage I/Oは、グレーの斜体で表示され、ダイレクトモニタリングの対象になりません。
- Nuage I/Oと同じ出力バスにアサインされているRMio64-Dは、ダイレクトモニタリングの有効/無効に関わらずグレーの斜体で表示されます。RMio64-Dのダイレクトモニタリングについては、RMio64-D取扱説明書をご参照ください。
- Nuage I/Oからの入力とRMio64-Dからの入力がミックスされて同じNuage I/Oのポートにダイレクトモニタリング出力される場合は、Nuage I/Oからの入力だけが出力されます。

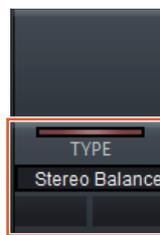
ステレオパンナーの切り替え機能を追加 (Nuage Fader)

Nuage Faderでステレオパンナーのタイプを切り替えられるようになりました。

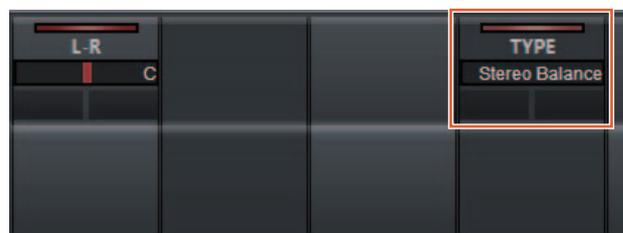
操作方法

1. SECTION CONTROLセクションの[PAN]を押します。
2. (チャンネルストリップ表示のみ) [サブパラメーター 2]を押します。
ラベルエリアにステレオパンナーのタイプが表示されます。
3. 画面に対応する[マルチファンクションノブ]を押します。
ステレオパンナーを選択するためのポップアップが表示されます。
4. [マルチファンクションノブ]を回して、ステレオパンナーのタイプを選択します。
5. もう一度[マルチファンクションノブ]を押して、選択を確定します。

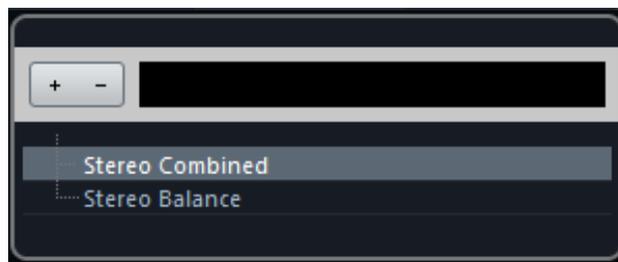
チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード



ポップアップ



チャンネルストリップにパラメーターを追加 (Nuage Fader)

チャンネルストリップでHC SLOPE、LC SLOPE、GAIN、φ (PHASE)、HA HPF、HA +48Vを操作できるようになりました。

また、サブパラメーター 2にアサインされていたHA GAIN、HA GCをサブパラメーター 4に移動しました。

操作方法

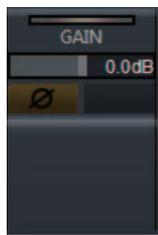
1. SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押します。
2. [サブパラメーター 2]~[サブパラメーター 5]のどれかを押します。
ラベルエリアに下記のパラメーターが表示されます。
3. 画面に対応する[マルチファンクションノブ]や[マルチファンクションボタン]でパラメーターを操作します。

サブパラメーター2



HC SLOPE、LC SLOPE

サブパラメーター3



GAIN、φ (PHASE)

サブパラメーター4



HA GAIN、HA GC
(Rio3224-D/Rio1608-D
リモートコントロール時)

HA GAIN、HA TRIM
(AD8HRリモートコントロール時)

サブパラメーター5



HA HPF、HA +48V
(HAリモートコントロール時)

チャンネルセッティングモードの パラメーター切り替えに対応 (Nuage Fader)

チャンネルセッティングモードでも、サブパラメーターを切り替えてパラメーターを操作できるようになりました。

NOTE

現在対象となっているのは、

- DeEsser (Cubase Pro 8以降)
 - Envelope Shaper
- の「ダイナミクス」2種類のみです。

操作方法

チャンネルセッティングモードで表示されているチャンネルの「ダイナミクス」にDeEsserまたはEnvelope Shaperが選ばれている状態で

1. SECTION CONTROLセクションの[DYN]を押します。
2. [サブパラメーター 2]を押します。
ラベルエリアのパラメーター表示が切り替わります。
3. 画面に対応する[マルチファンクションノブ]や[マルチファンクションボタン]でパラメーターを操作します。

選択範囲でイベントを分割する ショートカットを追加 (Nuage Master)

Nuage Masterのショートカットを使って、選択範囲でイベントを分割できるようになりました。

操作方法

1. Nuendoのプロジェクトウィンドウで、トラック上の分割したい範囲を範囲選択ツールを使って選択します。
2. MODIFIERセクションの[SHIFT]を押したままJOG WHEELセクションの[SPLIT]を押します。
選択範囲でイベントが分割されます。

インサートの一括バイパス機能追加 (Nuage Fader)

選択しているチャンネルの「インサート」のバイパスを一括してオン/オフできるようになりました。

操作方法

1. SECTION CONTROLセクションの[INSERT]を押します。
ラベルエリアに「INSERTS」が表示されます。
2. 画面に対応する[マルチファンクションボタンA]を押して「インサート」のバイパスのオン/オフを切り替えます。

チャンネルストリップ



チャンネルセッティングモード



NOTE

チャンネルセッティングモード時に[サブパラメーター 1]~[サブパラメーター 8]を押すと、対応するスロットに割り当てられている「インサート」の画面が開きます。同じボタンをもう一度押すと、画面が閉じます。

2つのチャンネルをチャンネルセッティングモードで表示しているときは、この機能は無効です。

ダイナミクスの一括バイパス機能追加 (Nuage Master)

選択しているチャンネルの「ダイナミクス」のバイパスを一括してオン/オフできるようになりました。

操作方法

1. ダイナミクスをオン/オフするトラックを選択します。
2. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[DYNAMICS]を押します。
[マルチファンクションディスプレイ]にCHANNEL CONTROL — DYNページが表示されます。
3. 画面上の[BYP]をタッチして「ダイナミクス」のバイパスのオン/オフを切り替えます。

CHANNEL CONTROL — DYNページ

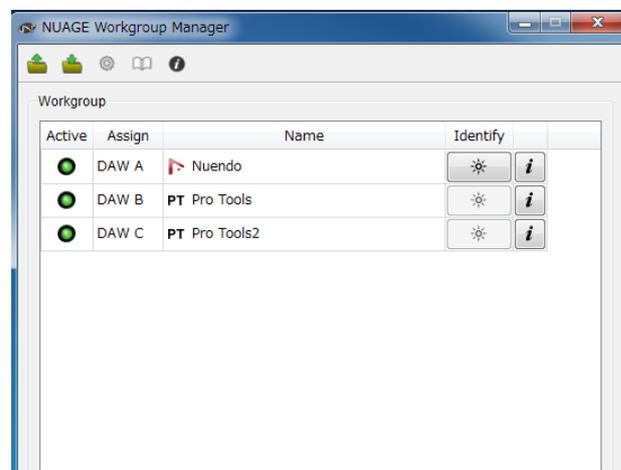


複数のAvid Pro Tools切り替えに対応 (NUAGE Workgroup Manager)

Workgroupに1つしか登録できなかったAvid Pro Toolsを2つまで登録できるようになりました。

NOTE

Avid Pro Toolsの設定は、Nuage MasterまたはNuage Faderのオペレーションマニュアルをご参照ください。



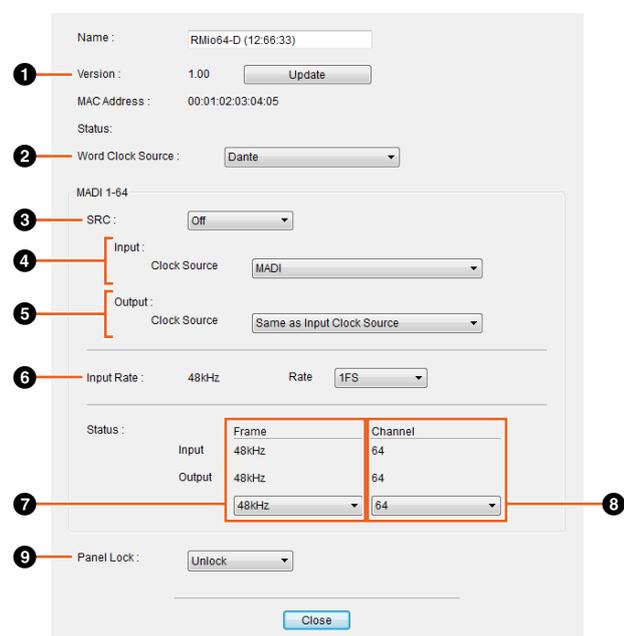
RMio64-Dのリモートコントロールに対応 (NUAGE Workgroup Manager)

Dante/MADI変換オーディオインターフェース RMio64-DをNUAGE Workgroup Managerからリモートコントロールできるようになりました。

NOTE

- リモートコントロールするには、対象のRMio64-DがNUAGE Workgroup内でActiveになっている必要があります。
- 各パラメーターを変更した時点でRMio64-D本体に反映されます。
- Workgroupには、Nuage I/OとRMio64-Dを合わせて8台まで登録できます。

RMio64-D — Property画面



コントロールできるパラメーターは次のとおりです。

1 Version

RMio64-D本体のファームウェアバージョンが表示されます。「Update」をクリックすると、本体のファームウェアをアップデートできます。

2 Word Clock Source

RMio64-D本体のワードクロックソースをDante/WCLK IN/MADIから選択します。

3 SRC

MADIのSRC (Sampling Rate Converter)のOff/Onを切り替えます。

4 Input Clock Source

SRC入力のワードクロックソースをMADI/WCLK IN for SRCから選択します。

5 Output Clock Source

SRCがオンのときのMADIの出力信号のワードクロックソースを選択します。

Same as Input Clock Source	MADIの出力信号は、MADIの入力信号に同期します。
----------------------------	-----------------------------

Same as Word Clock Source	MADIの出力信号は、RMio64-D本体の動作クロックに同期します。
---------------------------	-------------------------------------

6 Input Rate

MADIの入力周波数に合わせて1Fs (1倍)/2Fs (2倍)/4Fs (4倍)を選択します。たとえばMADIの入力信号が192 kHz (48 kHzの4倍)のときは「4Fs」を選択します。

7 MADI Output Frame

MADIの出力信号のフレーム周波数を選択します。選択した値と実際に動作している周波数は異なる場合があります。たとえば、設定が「96kHz」の場合で、実際に動作している周波数が「48kHz」のときは「96kHz >> 48kHz」と表示されます。

Same as Input	MADIの入力信号と同じフレーム周波数で出力します。
---------------	----------------------------

48kHz	44.1 kHzまたは48 kHzで出力します。
-------	--------------------------

96kHz	88.2 kHzまたは96 kHzで出力します。
-------	--------------------------

8 MADI Output Channel

MADIの出力信号のチャンネル数を選択します。選択した値と実際に動作しているチャンネル数は異なる場合があります。たとえば、設定が「64」の場合で、実際に使用できるチャンネル数が「56」のときは「64 >> 56」と表示されます。

Same as Input	MADIの入力信号と同じチャンネル数で出力します。
---------------	---------------------------

64	64チャンネルで出力します。
----	----------------

56	56チャンネルで出力します。
----	----------------

9 Panel Lock

RMio64-D本体のパネル操作のUnlock/Lockを切り替えます。

SRCオン時のMADIの出力信号

Input Clock Source	Output Clock Source	MADIの出力信号
MADI	Same as Input Clock Source	MADIの入力信号に同期
MADI	Same as Word Clock Source	RMio64-D本体の動作クロックに同期
WCLK IN for SRC	Same as Input Clock Source	WCLK IN for SRCから入力されるワードクロックに同期
WCLK IN for SRC	Same as Word Clock Source	RMio64-D本体の動作クロックに同期

マーカージャンプ機能のポップアップをリスト表示に変更 (Nuage Master)

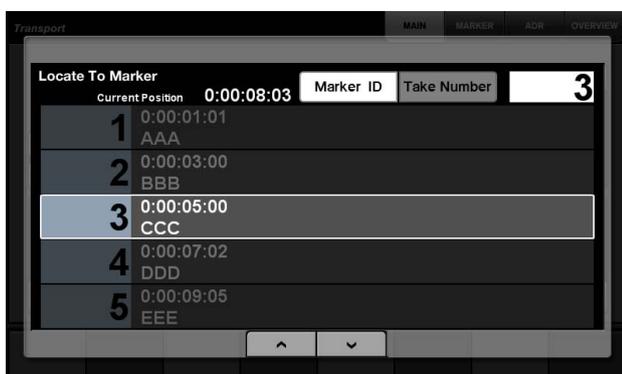
マーカージャンプ機能やサイクルマーカージャンプ機能のポップアップがリスト表示になりました。入力した「マーカーID」を中心に前後のマーカーが表示されます。

操作方法

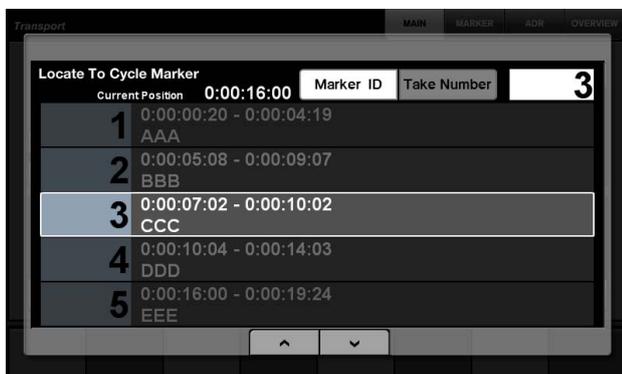
1. NUMERIC PADセクションの[MARKER]を押します。
2. [0]~[9]、[BACK SPACE]、[CLEAR]、[PREV -]、[NEXT +]、[CYCLE .]、[ENTER]のどれかを押しします。

[マルチファンクションディスプレイ]に次のポップアップが表示されます。

マーカー機能ポップアップ



サイクルマーカー機能ポップアップ



NOTE

- 画面下部の [] で画面をスクロールできます。
- CubaseにはADR機能がないため、Marker ID/Take Numberは画面に表示されません。

プロジェクトカーソル位置の指定方法を追加 (Nuage Master)

TRANSPORTページで「プロジェクトカーソル」の位置を指定するとき、時、分、秒などの単位ごとに数字を入力できるようにしました。

設定

SETUPページ PAGE 3の「Numeric Pad Input」で入力方法を切り替えます。

SETUPページ — PAGE 3



Left 時、分、秒などの単位ごとに数字を入力

Right 従来の入力方法(テキスト入力)

NOTE

この設定を変えると、ロケート機能の入力方法も一緒に切り替わります。

操作方法

1. TRANSPORTセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。
2. NUMERIC PADセクションの[PARAM]を押します。
3. 画面上の「Time Display」をタッチします。
4. NUMERIC PADセクションの各キーを使って、プロジェクトカーソルの位置を入力します。

TRANSPORT — MAINページ



プロジェクト再生中の[ジョグホイール] 有効/無効選択機能を追加 (Nuage Master)

プロジェクト再生中の[ジョグホイール]操作を無効にできるようになりました。これにより、再生中のプロジェクトカーソルの誤操作を防げます。

設定

SETUPページ PAGE 3の「JOG Operation during Playback」で入力方法を切り替えます。

SETUPページ — PAGE3



-
- | | |
|-----|-------------------------------|
| On | プロジェクト再生中の[ジョグホイール]操作を有効にします。 |
| Off | プロジェクト再生中の[ジョグホイール]操作を無効にします。 |
-

NUAGE V1.5で追加された機能

Rシリーズ(Dante対応 I/Oラック)のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader).....	71
クイックコントロール設定画面を 追加 (Nuage Master)	71
VSTインストゥルメント操作に対応 (Nuage Master)	72
ドラッグによる画面スクロールを 追加 (Nuage Master)	72
トラックの表示/非表示機能に対応 (Nuage Master).....	73
スーパーファインモードを追加 (Nuage Master、Nuage Fader)	73
センドのパニングに対応 (Nuage Master).....	73
Nuendo6.5の追加プラグインに 対応 (Nuage Master、Nuage Fader)	74
Nuendo6.5のADR機能追加に対応(Nuage Master)	74
ダイレクトモニタリングの設定を 追加 (Nuage I/O)	74
Avid Pro Toolsで使用するEthernetポートの選択機能を追加 (NUAGE PT Bridge)	75
その他の機能追加 (Nuage Master).....	75

Rシリーズ(Dante対応 I/Oラック)のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)

Rシリーズ(Rio3224-D、Ri8-Dなど)のHAゲインをコントロールできるようになりました。

- SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押したあと、[サブパラメーター 2]を押すと、Rシリーズを接続したインプットチャンネルの「HA GAIN」と「HA GC」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。
- Rシリーズを接続したインプットチャンネルの[e](エディット)を押したあと、SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押すと、[e]を押したチャンネルの「HA GAIN」、「HA GC」、「HA HPF」、「HA +48V」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。



ステレオやサラウンドなど、複数のチャンネルで構成される入力バスをアサインしている場合、Nuendoの「VSTコネクション」でバス構成の一番上に表示されるチャンネル(ステレオの場合は「左」)のパラメーターが表示されます。

Nuage Faderで設定された値が、そのバスのすべてのチャンネルに適用されます(「左」(チャンネル)の設定が画面上に表示されていない「右」(チャンネル)にも適用されます)。バスを構成するチャンネルの値が一致していない場合、パラメーターの後に「*」が付きます。(「HA GAIN*」など)

操作	機能
「HA GAIN」	HAゲインを調節します。
「HA GC」	ゲインコンペーンションをオン/オフします。
「HA HPF」	ハイパスフィルターをオン/オフします。フィルター周波数(20~600 Hz)も変更できます。
「HA +48V」	+48 Vファンタム電源をオン/オフします。オンにするには[マルチファンクションボタンA]を長押しします。

Rシリーズの設定

Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE HA Remote Setup」をクリックして設定画面を開き、使用するDante Acceleratorを設定を設定します。

クイックコントロール設定画面を追加 (Nuage Master)

チャンネルに割り当てられている「クイックコントロール」のパラメーターを[マルチファンクションディスプレイ]で編集できるようになりました。

CHANNEL CONTROL — QUICK CONTROLページ



① (Nuendo)

Nuendoの「チャンネル設定」画面を開きます。もう一度押すと閉じます。

② パラメーター

選択しているチャンネルに割り当てられている「クイックコントロール」のパラメーターを表示します。各パラメーターの値は画面をドラッグするか、対応する[マルチファンクションノブ]を使って変更できます。

VSTインストゥルメント操作に対応 (Nuage Master)

CHANNEL CONTROLページでインストゥルメントトラック上のVSTインストゥルメントを操作できるようになりました。

CHANNEL CONTROL — MAINページ



① インストゥルメント

インストゥルメント選択画面を表示します。

② Ch (チャンネル)

MIDIチャンネル選択画面を表示します。

③ e (エディット)

INSTページ(下記)を表示します。

CHANNEL CONTROL — INSTページ



① (Nuendo)

「VSTインストゥルメント」画面を開きます。もう一度押すと閉じます。

② 戻る

MAINページに戻ります。

③ オン/オフ

VSTインストゥルメントをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

④ R (リード)

「オートメーション読込」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑤ W (ライト)

「オートメーション書込」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

⑥ VSTインストゥルメント名/ライブラリー名

選択しているインストゥルメント、ライブラリーが表示されます。

⑦ パラメーター

任意のパラメーターをタッチすると、そのパラメーターを[マルチファンクションノブ]で操作できます。[マルチファンクションボタンB]を押すと、パラメーターの値をロックします。もう一度押すと、ロックを解除します。

⑧ ライブラリー

ライブラリー選択画面を表示します。

⑨ アップ/ダウン

パラメーターをスクロールします。

ドラッグによる画面スクロールを追加 (Nuage Master)

[マルチファンクションディスプレイ]に収まりきらないリストなどがあるとき、ドラッグして画面をスクロールできるようになりました。

スクロール可能な画面が表示されているとき、MODIFIERセクションの[CTRL]を押すと、画面に矢印が表示されます。矢印の方向にドラッグすると、画面がスクロールします。



トラックの表示/非表示機能に対応 (Nuage Master)

Nuendo 6.5の「任意のトラックの表示/非表示」が行なえるようになりました。大規模プロジェクトでの作業効率を大幅に改善できます。

TRACK LISTページ — Track Visibilityビュー



1 Track Visibility

Track Visibilityビューに切り替えます。

2 Filter Track Types (トラックタイプをフィルター)

フィルターを使って表示させたいトラックタイプのみ選択できます。

3 Track Visibility Agents (トラック表示エージェント)

トラック表示/非表示機能のコマンドリストを表示します。

4 トラック

トラックを表示(点灯)/非表示(暗点灯)します。非表示にしたトラックは、TRACK LISTページの各ビューで操作できなくなります。

スーパーファインモードを追加 (Nuage Master、Nuage Fader)

CHANNEL STRIPのパラメーターを従来よりも細かく調節できるスーパーファインモードを追加しました。

マルチファンクションノブを押している状態(ファインモード)でMODIFIER SECTIONの[SHIFT]を押すと、[SHIFT]を押している間スーパーファインモードになります。

スーパーファインモード中は、ファインモードよりも([マルチファンクションノブ]で)パラメーターを細かく調節できます。

[SHIFT]を離すと、ファインモードに戻ります。

センドのパンニングに対応 (Nuage Master)

チャンネルの「センド」パンを設定できるようになりました。

CHANNEL CONTROL — SENDSページ



1 LP (Link Panners)

「パンのリンク(Link Panners)」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

2 SENDS PAN

該当するスロットのSENDS PANページ(下記)を表示します。

CHANNEL CONTROL — SENDS PANページ



1 (Nuendo)

Nuendoの「チャンネル設定」画面を開きます。もう一度押すと閉じます。

2 戻る

SENDSページに戻ります。

3 出力先

スロット番号と出力先を表示します。

4 BYP (バイパス)

「バイパス」をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

5 ライブラリー

ライブラリー選択画面を表示します。

Nuendo6.5の追加プラグインに対応 (Nuage Master、Nuage Fader)

SECTION CONTROLセクションで[DYN]を選択してNuendo 6.5で追加されたプラグイン(Magneto II)のパラメーターを操作できるようになりました。

また、Noise Gateのパラメーターが操作できるようになりました。

(下記はNuage Masterの画面です。)



Nuendo6.5のADR機能追加に対応(Nuage Master)

Nuendo 6.5で強化されたADRの機能追加に対応しました。

TRANSPORT — ADRサブページ



① Free Run

Free Runモードのオン/オフを操作します。

User AssignableタブのADRでは、U8がFree Runに固定されます。

また、UserAssignボタンの初期設定に以下の機能を追加しました。

② U3: Mute Guide CR (Control Roomのガイドトラックのオン/オフ)

③ U7: ADR Status (ADR Status Indicatorのオン/オフ)

TRANSPORTセクション

ADRモードのとき、TRANSPORTセクションのボタンの機能が変わりました。

[PREROLL]

Free Runモード中のPre Rollのオン/オフを切り替えます。Free Run以外のモードでは機能しません。

[POSTROLL]

Free Runモードのオン/オフを切り替えます。

ダイレクトモニタリングの設定を追加 (Nuage I/O)

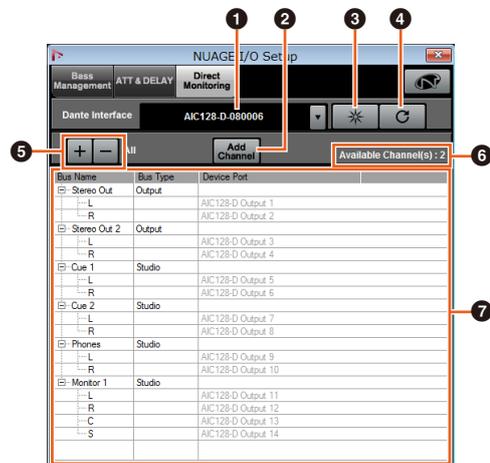
NUAGE I/O Setupで、ダイレクトモニタリングの対象となる出力を選択できるようになりました。

NUAGE I/O Setup画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE I/O Setup」をクリックします。

NOTE

- ダイレクトモニタリングの対象は最大16チャンネルです。16を越えるチャンネルが割り当てられているバスは選択できません。
- NuendoのControl Roomのモニターバスは1つだけダイレクトモニタリングの対象にできます。

NUAGE I/O Setup — Direct Monitoring画面



① Dante Interface (ダンテインターフェース)

DAWが使用しているDante Acceleratorを指定します。

② Add Channel (アドチャンネル)

ダイレクトモニタリングの対象となる出力バスを追加します。

③ Identify (アイデンティファイ)

「Dante Interface」で指定しているDante Acceleratorを探すときに使用します。「Identify」をクリックすると、対象となるDante AcceleratorのすべてのLEDが同時に数秒間点滅し、自動で止まります。

④ Refresh (リフレッシュ)

ダイレクトモニタリングチャンネルリストを最新の状態に更新します。

⑤ +/- (チャンネルの表示/非表示)

バスに割り当てられているチャンネルを表示(+)/非表示(-)します。

⑥ 追加可能なダイレクトモニタリングのチャンネル数

使用可能なダイレクトモニタリングチャンネル数を表示します。

⑦ ダイレクトモニタリングのチャンネルリスト

ダイレクトモニタリングの対象となっている「Bus Name」(バス名/チャンネル名)、「Bus Type」(バスタイプ)、「Device Port」(デバイスポート名)を表示します。「Bus Type」はダイレクトモニタリング対象のチャンネルがOutputとStudio (Control Room)のどちらに属するかを示します。また、「Bus Name」で選択したバスを右クリックで表示されるコンテキストメニューから削除できます。

NOTE

ダイレクトモニタリング使用時の注意事項については、下記ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/>

Avid Pro Toolsで使用するEthernetポートの選択機能を追加 (NUAGE PT Bridge)

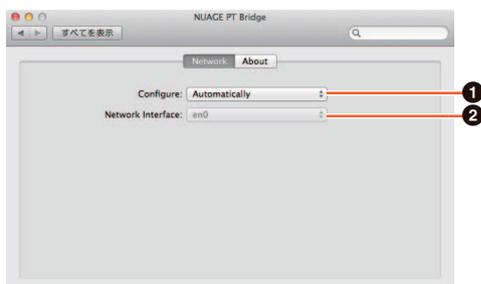
NuageコントローラーをAvid Pro Toolsのコントロールサーフェスとして使用する場合は、NUAGE PT Bridgeの設定が必要です。

以前のバージョンでは、NUAGE PT BridgeのEthernetポート接続機能が常に自動選択だったため、無線LANを選択してしまうことがありました。

本バージョンでは、より簡単にコンピューター本体のEthernetポートを選択できるように手動選択が追加されました。

Ethernetポートの選択は、コンピューターの[システム環境設定] → [NUAGE PT Bridge]で行ないます。

Network画面



① Configure (コンフィギュア)

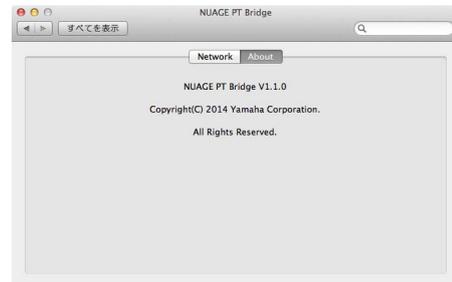
「Network Interface」を自動選択(Automatically)にするか、手動選択(Manually)にするかを選択します。

② Network Interface (ネットワークインターフェース)

NUAGEシリーズと接続するポートを選択します。「Configure」が「Manually」のときに選択可能です。

About画面

NUAGE PT Bridgeの情報を表示します。



その他の機能追加 (Nuage Master)

SETUPページ

設定できる項目が増えたため、3ページに分割しました。

PAGE 1



PAGE 2



Smart Switch Delayで押し続ける時間を調節する各ボタンのうち、[TALK BACK]ボタンとそれ以外のボタンを別々に設定できるようになりました。

また、設定できるパラメーターに「Momentary」が追加されました。Momentaryにすると、押し続ける時間に関係なく、ボタンを押している間だけオンになります。

① Talk Back

COMMUNICATIONセクションの[TALK BACK]の動作を切り替えます。

② Others

[SHUTTLE]、[SCROLL]、[SELECT]、[ZOOM]、[MOVE]、[VOLUME]の動作を切り替えます。

PAGE 3



③ MUTE Button Behavior

チャンネルストリップの[MUTE]の動作を切り替えます。

Continuousにすると、あるチャンネルの[MUTE]を押したまま別のチャンネルの[MUTE]を押したとき、2つのチャンネルの間にあるチャンネルも一括して「ミュート」をオン/オフします。

Toggleにすると、[MUTE]を押したチャンネルだけ「ミュート」をオン/オフします。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

NUAGE V1.2で追加された機能

Nuage MasterからのAD8HR リモートコントロールに対応 (Nuage Master)	78
EQバンドカーブの表示を追加 (Nuage Master)	78
Nuendoのマーカーカラーに対応 (Nuage Master)	78
マルチファンクションディスプレイ上のパラメーター表示を改善 (Nuage Master)	78
チャンネルストリップからのパンコントロールを改善 (Nuage Fader).....	79

Nuage MasterからのAD8HR リモートコントロールに対応 (Nuage Master)

Nuage MasterからもAD8HRをリモートコントロールできるようになりました。

AD8HRとの接続や設定については「NUAGE V1.1 追補マニュアル」をご参照ください。

CHANNEL CONTROL — MAINページ



操作	機能
「HA GAIN」	ゲインを調節します。
「HA TRIM」	ゲイントリムを調節します。調節するには「マルチファンクションボタンA」を押して、ロックを解除する必要があります。
「HA HPF」	ハイパスフィルターをオン/オフします。フィルター周波数(20~600 Hz)も変更できます。
「HA +48V」	+48 Vファンタム電源をオン/オフします。オンにするには[マルチファンクションボタンA]を長押しします。

EQバンドカーブの表示を追加 (Nuage Master)

EQページに表示されるEQグラフにEQバンドカーブや操作しているバンドのパラメーターが表示されるようになりました。

CHANNEL CONTROL — EQページ

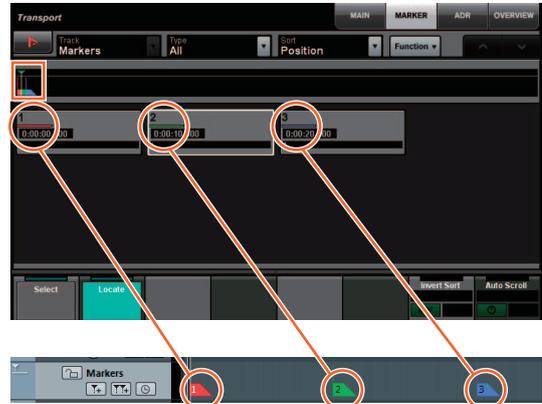
EQバンドカーブ



Nuendoのマーカーカラーに対応 (Nuage Master)

Nuendoでマーカーに設定されたカラーがMARKERページの表示に反映されるようになりました。

TRANSPORT — MARKERページ



Nuendo — マーカートラック

マルチファンクションディスプレイ上のパラメーター表示を改善 (Nuage Master)

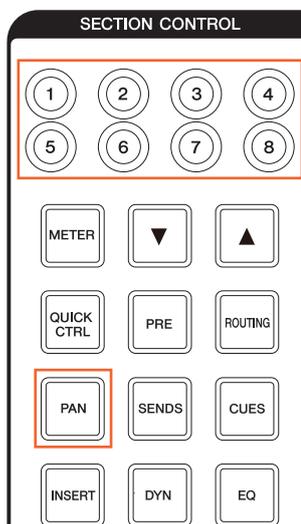
[マルチファンクションノブ]操作時、対象となっているパラメーターの枠をハイライト表示するようになりました。



チャンネルストリップからの パンコントロールを改善 (Nuage Fader)

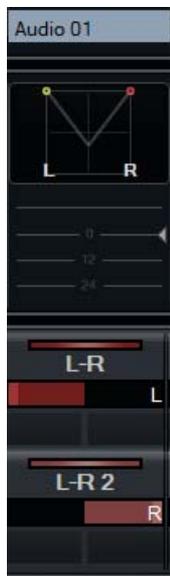
従来チャンネルストリップで操作できなかったパンのパラメーターを、サブパラメーターを切り替えて操作できるようになりました。

SECTION CONTROLセクション



■ ステレオチャンネル(コンバインパン)の場合

サブパラメーター 1



サブパラメーター 2

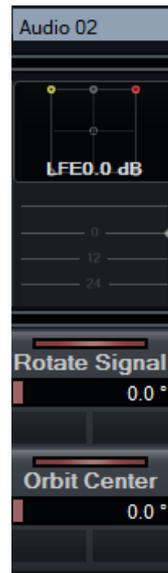


■ サラウンドパンナーの場合

サブパラメーター 1



サブパラメーター 2



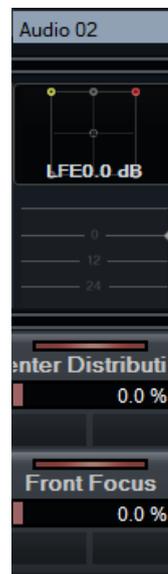
サブパラメーター 3



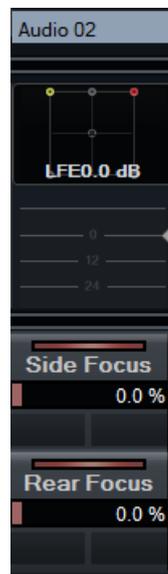
サブパラメーター 4



サブパラメーター 5



サブパラメーター 6



サブパラメーター 7



サブパラメーター 8



NUAGE V1.1で追加された機能

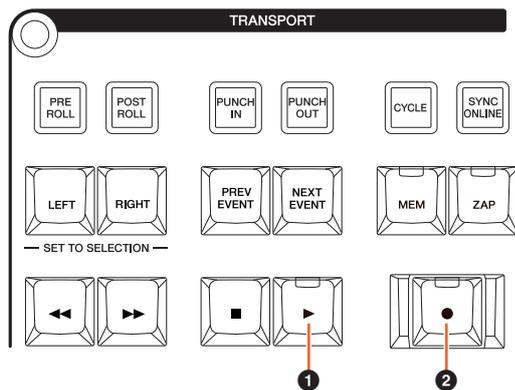
ADRモードを追加 (Nuage Master)	81
USER ASSIGNABLEセクションへの機能の割り当てを追加 (Nuage Master、Nuage Fader)..	82
AD8HRのリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)	83
[チャンネルネームディスプレイ]の表示機能を追加 (Nuage Fader)	85
チャンネルの表示機能を追加 (Nuage Fader).....	85
トラックの選択方法を追加 (Nuage Master).....	86
ズームに関する操作を追加 (Nuage Master).....	87
編集に関する操作を追加 (Nuage Master).....	88
その他の機能追加 (Nuage Master).....	88

ADRモードを追加 (Nuage Master)

Nuendo 6のADR機能に対応するADRモードを追加しました。

TRANSPORTセクション

[ディスプレイアクセス]を何度か押して「ADRページ」(右図)を表示し、画面上の「Transport Switch」をオン(点灯)にすると、ADRモードに切り替わります。ADRモードに切り替わると、[ディスプレイアクセス]が点滅します。「Transport Switch」をオフ(暗点灯)にすると、ADRモードから戻ります。



① [▶] (Rehearse)

Nuendoの「ADR設定」のオプションに応じてテイクが再生されます。

[■]を押しながら[▶]を押すと、「Review」として機能し、テイクを確認できます。

「Review」実行中はランプが点滅します。

② [●] (Record)

Nuendoの「ADR設定」のオプションに応じてテイクが再生され、吹き替えが録音されます。

「Rehearse」、「Record」、「Review」実行中は、[ジョグホイール]は使用できません。

ADRページ



① Nuendo

Nuendoの「マーカーウィンドウ」を開きます。

② User Assign

オン(点灯)にすると、USER ASSIGNABLEセクションの[U1]~[U12]にADR用の機能を割り当てます。

もう一度押すと、オフ(暗点灯)になります。

NUAGE MASTER SetupのUser Assignable画面「ADR」で割り当てる機能を変更できます。

③ U1~U12

ADR用に割り当てられた機能が表示されます。タッチすると、割り当てられた機能を使用できます。

④ Time Display [PARAM]

「プロジェクトカーソル」の位置を表示/設定します。

⑤ マーカー情報

「マーカー」の情報が表示されます。

⑥ Pre-Roll / Post-Roll

「プリロール」、「ポストロール」の情報が表示されます。

⑦ CUE 1~CUE 4

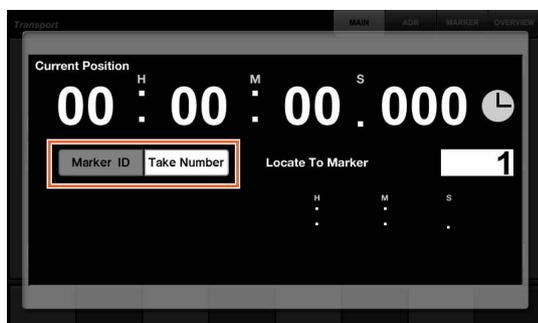
[マルチファンクションノブ]の操作対象となる「キュー」を選択します。

NUMERIC PADセクション



① [MARKER]

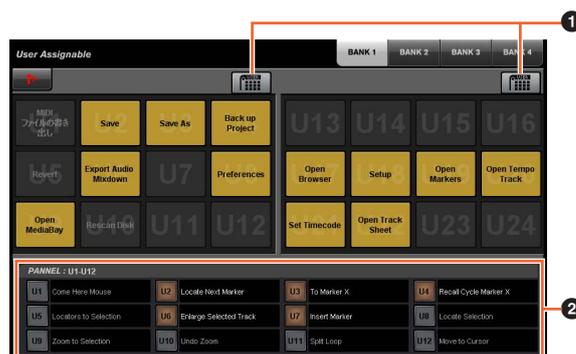
マーカージャンプ機能やサイクルマーカージャンプ機能を使用するためのポップアップが[マルチファンクション画面]に表示されているとき、[MARKER]を押すとマーカの指定方法が、「MARKER ID」と「Take Number」(ADR用)とで切り替わります。「Take Number」の入力待ちのときは、[MARKER]が点滅します。



USER ASSIGNABLEセクションへの機能の割り当てを追加 (Nuage Master、Nuage Fader)

機能の割り当てをコンピューターに保存したり、保存された割り当てを読み込んだりできるようになりました。また、複数のNuage Faderが接続されているとき、Nuage Faderごとに異なる機能を割り当てられるようになりました。

USER ASSIGNABLEページ (Nuage Master)



① User Assign

左の「User Assign」をオン(点灯)にすると、画面のU1～U12に割り当てた機能を、右の「User Assign」をオン(点灯)にすると、画面のU13～U24に割り当てた機能をUSER ASSIGNABLEセクションの[U1]～[U12]に割り当てます。もう一度押すと、オフ(暗点灯)になります。

② PANEL: U1-U12

USER ASSIGNABLEセクションの[U1]～[U12]に割り当てられている機能を表示します。

NUAGE MASTER Setup

NUAGE MASTER Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE MASTER Setup」をクリックします。



1 Open

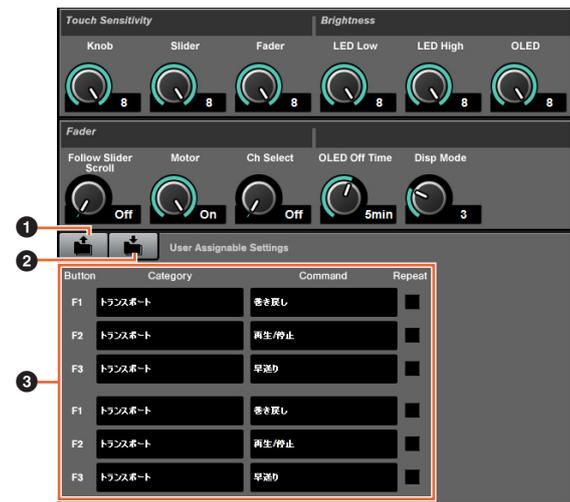
Nuage Masterの機能の割り当てを読み込みます。

2 Save

Nuage Masterの機能の割り当てを保存します。機能の割り当てはXML形式(.xml)で保存されます。

NUAGE FADER Setup

NUAGE FADER Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。



1 Open

Nuage Faderの機能の割り当てを読み込みます。

2 Save

Nuage Faderの機能の割り当てを保存します。機能の割り当てはXML形式(.xml)で保存されます。

3 User Assignable Settings

複数のNuage Faderが接続されているとき、Nuage Faderごとに異なる機能を割り当てます。

AD8HRのリモートコントロールに対応 (Nuage Fader)

概要

Nuage I/Oに接続したAD8HRのゲインをコントロールできるようになりました。

- SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押したあと、[サブパラメーター 2]を押すと、AD8HRを接続したインプットチャンネルの「HA GAIN」と「HA TRIM」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。
- AD8HRを接続したインプットチャンネルの[e](エディット)を押したあと、SECTION CONTROLセクションの[PRE]を押すと、[e]を押したチャンネルの「HA GAIN」、「HA TRIM」、「HA HPF」、「HA +48V」を[マルチファンクションノブ]で操作できます。



ステレオやサラウンドなど、複数のチャンネルで構成される入力バスをアサインしている場合、Nuendoの「VSTコネクション」でバス構成の一番上に表示されるチャンネル(ステレオの場合は「左」)のパラメーターが表示されます。

バスを構成するチャンネルの値が一致していない場合、パラメーター名の後に「*」が付きます。(「HA GAIN*」など)

操作

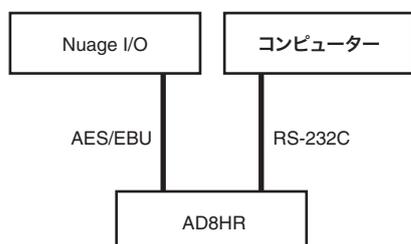
機能

「HA GAIN」	ゲインを調節します。
「HA TRIM」	ゲイントリムを調節します。調整するには、[マルチファンクションボタンA]を押して、ロックを解除する必要があります。
「HA HPF」	ハイパスフィルターをオン/オフします。フィルター周波数(20~600 Hz)も変更できます。
「HA +48V」	+48 Vファンタム電源をオン/オフします。オンにするには[マルチファンクションボタンA]を長押しします。

この機能を使用するには、次の準備が必要です。

- ・ 接続
- ・ シリアルポートの設定
- ・ Nuage I/Oの設定

接続



AD8HRとNuage I/OをAES/EBUで、AD8HRとコンピューターをRS-232Cケーブル(クロス)で接続します。コンピューターにシリアルポートがない場合は、シリアル-USBの変換コネクタを使用してコンピューターのUSBコネクタに接続します。

シリアルポートの設定

コンピューターのシリアルポートを次のように設定します。

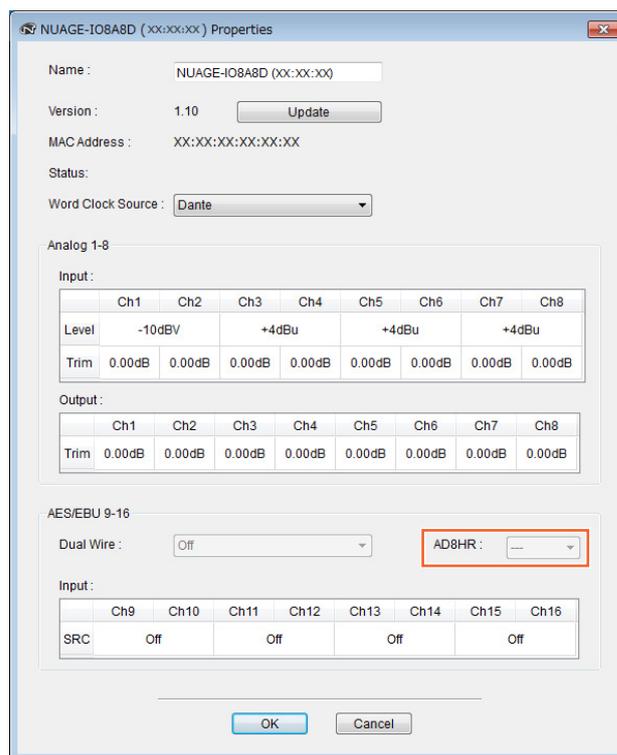
パラメーター	設定値
ビット/秒	38400
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

シリアルポートの設定方法はコンピューターのOSによって異なります。(Window 7の例:「デバイスマネージャ」で該当するシリアルポートを右クリックして「プロパティ」を表示。)

詳細は、OSの取扱説明書をご参照ください。

Nuage I/Oの設定

NUAGE Workgroup Managerで、Nuage I/Oの「Properties」を開き、AD8HRの「ID」を設定します。



AD8HRは、NUAGE HA Remote Setupでも設定できます。NUAGE HA Remote Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE HA Remote Setup」をクリックします。

[チャンネル名ディスプレイ]の表示機能を追加 (Nuage Fader)

チャンネルストリップの名前全体をスクロールして表示したり、表示される情報を変更したりできるようになりました。

チャンネルストリップの名前が長くて表示されない部分があるとき、チャンネルストリップを選択するか、[タッチスライダバー]でチャンネルをスクロールすると、選択しているチャンネルストリップの名前全体を1度だけスクロールして表示します。

NUAGE FADER Setup

NUAGE FADER Setupの画面を開くには、Nuendoのメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。



① Disp Mode

[チャンネル名ディスプレイ]の表示を切り替えます。

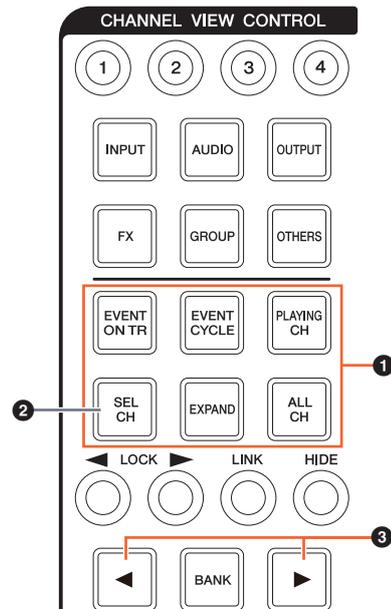


「Disp Mode」は、Nuage MasterのSETUPページ(88ページ)でも設定できます。

チャンネルの表示機能を追加 (Nuage Fader)

エージェント機能([SEL CH]など)を使用したあと、元の表示状態に戻したり、選択しているチャンネルがディスプレイに表示されていないとき、画面内にスクロールして表示できるようになりました。また、チャンネルをディスプレイの左から表示するか、右から表示するかを選択できるようになりました。

CHANNEL VIEW CONTROLセクション



① [EVENT ON TR] / [EVENT CYCLE] / [PLAYING CH] / [SEL CH] / [EXPAND] / [ALL CH]

それぞれのボタンに対応するチャンネルを表示しているとき、もう一度同じボタンを押すと、元の表示状態に復帰します。

ただし、[EVENT CYCLE]と[PLAYING CH]は、「プロジェクトカーソル」が動いているときに押しても復帰せず、再度エージェント機能が実行されます。

[ALT]を押しながら復帰すると、一番左のチャンネルを表示したまま復帰します。この機能は、エージェント機能を使用して特定のチャンネルを探すときに便利です。

② [SEL CH]

選択しているチャンネルがディスプレイに表示されていないとき、[ALT]を押しながら[SEL CH]を押すと、スクロールして画面内に表示します。

③ [◀] / [▶] (レフト/ライト)

Nuage Faderのフェーダー数よりもチャンネル表示数が少ないとき (エージェント機能を使用しているときなど)、次の機能を使用すると、チャンネルを手元で操作できます。

操作	機能
[SHIFT]を押しなが ら [◀]を押す	チャンネルが左から配置されます。
[SHIFT]を押しなが ら [▶]を押す	チャンネルが右から配置されます。
[ALT]を押しなが ら [▶]を押す	フリースクロールモードに切り替わりま す。フリースクロールモードでは、左端 または右端に固定されていたチャンネル も[タッチスライダバー]で動かせるよ うになります。
[ALT]を押しなが ら [◀]を押す	フリースクロールモードから戻ります。

MODIFIERセクション



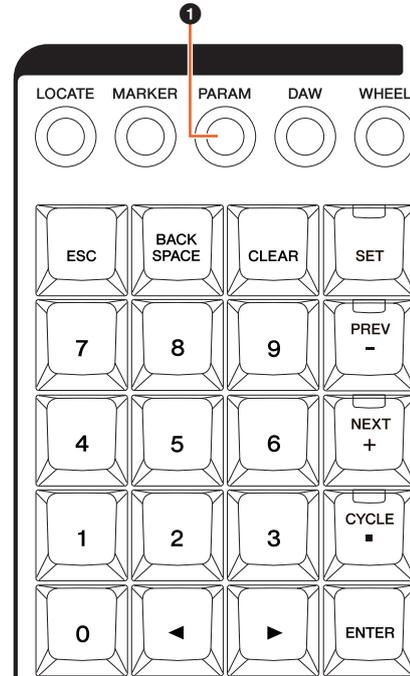
[SHIFT]、[CTRL]、[ALT]の3つを同時に押している間、ディスプレイに表示されている「ミキサー」のサイズを [マルチファンクションノブ] で変更できます。

操作	機能
「SCRN LEFT」	「ミキサー」の左端の位置を調節します。
「METER HEIGHT」	メーター部分の高さを調節します。
「SCRN RIGHT」	「ミキサー」の右端の位置を調節します。

トラックの選択方法を追加 (Nuage Master)

NUMERIC PADを使用してトラックを選択したり、複数のトラックを選択したりできるようになりました。

NUMERIC PADセクション

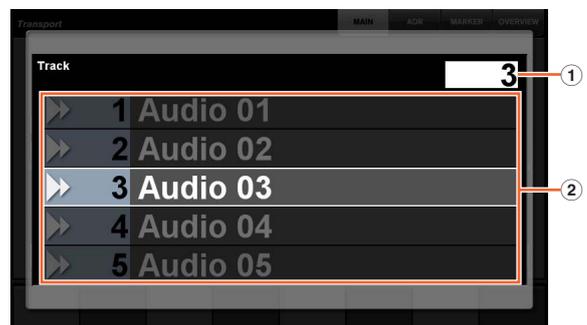


① [PARAM]

パラメーターモードで切り換える機能にトラック選択が追加されました。

トラック選択機能

トラック選択機能では、トラックの番号を入力することでトラックを選択できます。パラメーターモードのときに、[ESC]以外のキーを押すと、トラックの番号を入力するためのポップアップが [マルチファンクションディスプレイ] に表示されます。



① Track

トラックの番号を入力します。

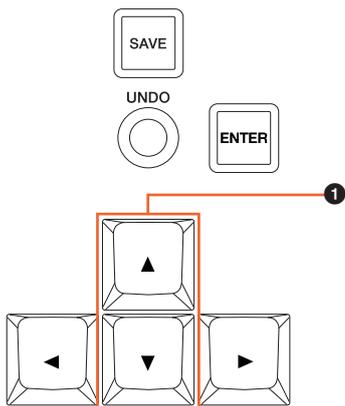
② トラックリスト

トラックのリストが表示されます。選択候補のトラックが強調して表示されます。

トラック選択機能のポップアップでは、[入力キー]は次のように機能します。

[入力キー]	機能
[0]～[9]	トラックの番号を入力します。
[BACK SPACE]	入力位置の数字を一つ削除します。
[CLEAR]	入力したすべての数字を削除します。
[SET]	セットモードに切り替えます。このときランプが点灯します。
[PREV -]	入力している番号の前のトラックの番号になります。
[NEXT +]	入力している番号の次のトラックの番号になります。
[CYCLE .]	選択トラックを追加するとき、このキーを押したあとに続けて番号を入力します。
[ESC]	入力を破棄し、ポップアップを消します。
[ENTER]	入力を確定します。

GENERAL CONTROLセクション



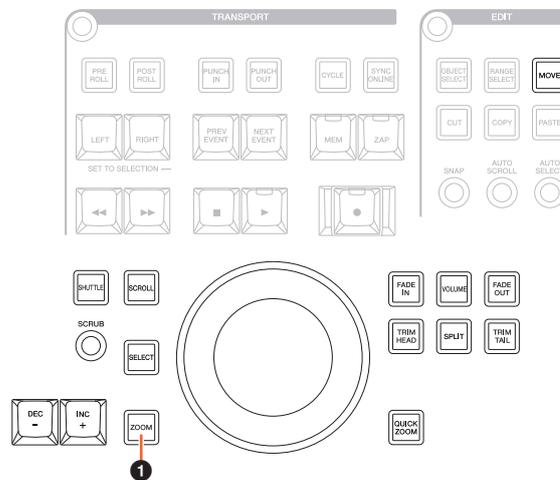
① [▲]/[▼](アップ/ダウン)

[SHIFT]を押しながら[▲]/[▼]を押すと、複数のトラックを選択できます。

ズームに関する操作を追加 (Nuage Master)

ズームに関するいくつかの操作が追加されました。

JOG WHEELセクション

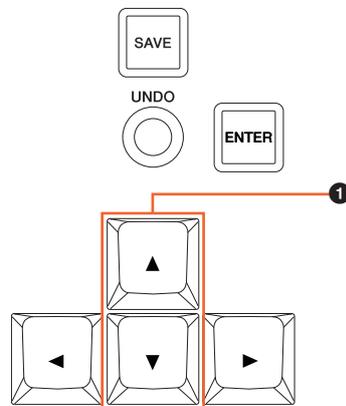


① [ZOOM]

[SHIFT]と[ALT]を押しながら[ジョグホイール]を回すと、波形を「ズームイン」/「ズームアウト」します。

[CTRL]と[ALT]を押しながら[ジョグホイール]を回すと、選択しているトラックの縦幅が変化します。

GENERAL CONTROLセクション



① [▲] / [▼] (アップ/ダウン)

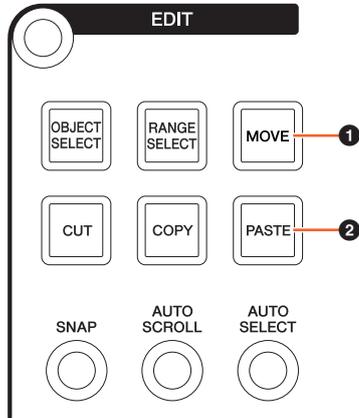
[CTRL]を押しながら[▲]を押すと、選択しているトラックの縦幅が狭くなります。

[CTRL]を押しながら[▼]を押すと、選択しているトラックの縦幅が広がります。

編集に関する操作を追加 (Nuage Master)

波形のオフセットを変更(スリップ)したり、コピー対象のイベントと「プロジェクトカーソル」の相対位置を保ったまま「貼り付け」をしたりできるようになりました。

EDITセクション



1 [MOVE]

「ツール」が「オブジェクトの選択」の場合、[SHIFT]と[ALT]を押しながら[ジョグホイール]を回すと、選択しているトラックの波形のオフセットを変更します。

2 [PASTE]

「ツール」が「オブジェクトの選択」の場合、[SHIFT]を押しながら[PASTE]を押すと、イベントと「プロジェクトカーソル」の相対位置をカット/コピーしたときの状態を保ったまま「貼り付け」します。

その他の機能追加 (Nuage Master)

SETUPページ



1 Disp Mode

[チャンネルネームディスプレイ]の表示を切り替えます。

2 Numeric Pad Input

ロケート機能で「プロジェクトカーソル」の位置を入力するときの入力方法を切り替えます。Rightにすると、テキスト入力になります。

DYNページ



1 タイトルバー

タッチしたプロセッサの「バイパス」をオン(点灯)/オフ(暗点灯)します。

2 パラメーター

各プロセッサのパラメーターが表示されます。タッチされたプロセッサのパラメーターを[マルチファンクションノブ]で操作できます。

「Comp」を選択しているときに一番右の[マルチファンクションノブ]を押すと、パラメーターがグラフで表示されます。もう一度押すと、元の表示に戻ります。

TRANSPORTページ

MAINページ



1 ロック/アンロック

「CLICK」と「TEMPO」をロック(点灯)/アンロック(暗点灯)します。

ロックすると、「CLICK」と「TEMPO」を[マルチファンクションノブ]で操作できなくなります。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/>
ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2013 Yamaha Corporation

2019年6月発行 MW-C0